

日本赤十字看護大学 修士論文

| 取得年度 | 専攻 | タイトル | 複写 |
|---------------------|-------|---|---|
| 平成 31年度 (2019年度) | 看護学専攻 | 危機管理のリーダーシップ自己効力感の関連要因：看護師長に焦点を当てて | 全文可 |
| 平成 31年度 (2019年度) | 看護学専攻 | 小児看護未経験の訪問看護師が小児訪問看護を続けられた体験 | 一部のみ可： IV結果(pp.19-35) 表3カテゴリー表 (pp.52-53)は不可 |
| 平成 31年度 (2019年度) | 看護学専攻 | 一般病棟に入院する認知症高齢者と看護師の相互作用 | 一部のみ可： 結果(pp.18-55)は不可 |
| 平成 31年度 (2019年度) | 看護学専攻 | 消化管ストーマを造設した高齢者の体験：長期間自己管理をしている後期高齢者に焦点を当てて | 全文可 |
| 平成 31年度 (2019年度) | 看護学専攻 | 訪問看護師が行う排便ケアの意味 | 全文可 |
| 平成 31年度 (2019年度) | 看護学専攻 | 外傷を負ってPICUに入室した乳幼児の養育者への看護実践 | 全文可 |
| 平成 31年度 (2019年度) | 看護学専攻 | 修士課程を修了した看護教員に対する評価：3年課程看護専門学校の管理者の面接から | 全文可 |
| 平成 31年度 (2019年度) | 看護学専攻 | 病棟に勤務する非正規雇用看護師のキャリアと学習の実態 | 全文可 |
| 平成 31年度 (2019年度) | 看護学専攻 | 教育委員の役割を任命された看護師の役割移行の体験 | 一部のみ可： IV.結果(pp.21-38)は不可 |
| 平成 31年度 (2019年度) | 看護学専攻 | 一般病棟における周術期患者の重篤化を予測した看護実践 | 全文可 |

日本赤十字看護大学 修士論文

| | | | |
|---------------------|-------|--|----------------------------------|
| 平成 31年度 (2019年度) | 看護学専攻 | 知的障害と糖尿病を併せもつ人への内科外来に勤務する看護師が行う在宅療養支援の実際 | 全文可 |
| 平成 31年度 (2019年度) | 看護学専攻 | 看護小規模多機能型居宅介護者の「自分らしい」生活 | 一部のみ可: IV章結果(pp.22-39)は 不可 |
| 平成 31年度 (2019年度) | 看護学専攻 | 精神科女性閉鎖病棟における患者の相互交流: 支え合いに焦点を当てて | 全文可 |
| 平成 31年度 (2019年度) | 看護学専攻 | 看護のトップマネジャーが人的資源配置を検討する意思決定モデル | 全文可 |
| 平成 31年度 (2019年度) | 看護学専攻 | 急性期病院に勤務する看護師のセルフケア支援のやりがいの様相: SCAQを用いた支援に焦点を当てて | 全文可 |
| 平成 31年度 (2019年度) | 看護学専攻 | 繰り返される治療と向き合う小児がんの幼児後期の子どもへの看護 | 全文可 |
| 平成 31年度 (2019年度) | 看護学専攻 | 看護師のRapid Response Team(RRT)要請に関連する要因の尺度開発: 質問紙作成のための文献検討とインタビュー調査 | 複写不可 |
| 平成 31年度 (2019年度) | 看護学専攻 | 心臓外科手術後の治療中断や差し控えに関する代理意思決定を担う家族への看護実践 | 一部のみ可: IV結果(pp.22-49)は不 可 |
| 平成 31年度 (2019年度) | 看護学専攻 | 「新人看護職員到達目標の達成が遅れていた看護師」が到達目標を達成するまでの関わり: 教育に携わる看護師のインタビューより | 全文可 |
| 平成 31年度 (2019年度) | 看護学専攻 | 児童養護施設で暮らす慢性的な症状のある学童期以降の子どもの健康とその自立に向けた看護実践 | 全文可 |
| 平成 31年度 (2019年度) | 看護学専攻 | 中小規模病院のトップマネジャーが考える看護師長に昇進させたい人材像とメンタリング | 全文可 |

日本赤十字看護大学 修士論文

| | | | |
|---------------------|---------------|--|----------------------------------|
| 平成 31年度 (2019年度) | 国際保健 助産学専攻 | 産科混合病棟の助産師が患者とその家族との関わりを通して得た体験と職業 継続とのつながり | 一部のみ可: IV.結果(pp.23-54)は不 可 |
| 平成 31年度 (2019年度) | 国際保健 助産学専攻 | 日本人男性をパートナーに持つベトナム出身女性の異文化における妊娠期から 産後4ヶ月までの体験の様相 | 全文可 |
| 平成 31年度 (2019年度) | 国際保健 助産学専攻 | 産後1か月の母親の子どもの泣きに対する感情尺度の開発 | 全文可 |
| 平成 31年度 (2019年度) | 国際保健 助産学専攻 | 妊娠期に初産婦がSNSで妊産褥婦と交流することの意味 | 全文可 |
| 平成 31年度 (2019年度) | 国際保健 助産学専攻 | NICU/GCUに入院経験のある児をもつ母親の母乳育児継続意欲への影響要因 | 全文可 |
| 平成 31年度 (2019年度) | 国際保健 助産学専攻 | 予期せぬ妊娠をした若年妊婦を娘にもつ母親に対する助産師の支援 | 全文可 |
| 平成 31年度 (2019年度) | 国際保健 助産学専攻 | 出産前後の夫婦間親密性と夫の立ち会い出産体験との関係 | 全文可 |
| 平成 31年度 (2019年度) | 国際保健 助産学専攻 | 喫煙習慣のある母親が妊娠・出産をきっかけに卒煙に至った理由 | 全文可 |
| 平成 31年度 (2019年度) | 国際保健 助産学専攻 | 妊娠期における正規雇用女性の生活調和への試み:初産婦に焦点を当てて | 全文可 |
| 平成 31年度 (2019年度) | 国際保健 助産学専攻 | 乳児家庭全戸訪問での開業助産師の母子に対する気がかりと対応 | 全文可 |
| 平成 31年度 (2019年度) | 国際保健 助産学専攻 | 助産師の防災意識と自らの備えおよび妊婦への保健指導との関連 | 全文可 |

日本赤十字看護大学 修士論文

| | | | |
|---------------------|---------------|--|---------|
| 平成 31年度 (2019年度) | 国際保健 助産学専攻 | 初産婦の夫が立ち会い分娩を振り返る体験 | 全文可 |
| 平成 31年度 (2019年度) | 国際保健 助産学専攻 | 立ち会い分娩を体験した女性が助産師による家族への関わりに対して抱く思い | 全文可 |
| 平成 30年度 (2018年度) | 看護学専攻 | 閉じ込め状態にある筋萎縮性側索硬化症患者への訪問看護師によるケア | 結果部分は不可 |
| 平成 30年度 (2018年度) | 看護学専攻 | 地域医療支援病院の外来看護師長が語る外来看護の課題と対応 | 全文可 |
| 平成 30年度 (2018年度) | 看護学専攻 | 中規模病院の副看護師長が看護管理経験から得る学び | 全文可 |
| 平成 30年度 (2018年度) | 看護学専攻 | 日常ケアにおけるクリティカルケア看護師の倫理的感受性が萌芽し醸成されていく体験 | 全文可 |
| 平成 30年度 (2018年度) | 看護学専攻 | 糖尿病性腎症で血液透析療法を受ける人の維持期を生きる体験 | 結果部分は不可 |
| 平成 30年度 (2018年度) | 看護学専攻 | 混合病棟で大人と子どもを受け持つ看護師が子どもの入院中の生活を整えるための看護 | 全文可 |
| 平成 30年度 (2018年度) | 看護学専攻 | 災害時の避難所における看護師および薬剤師の連携について:互いの役割に焦点をあてて | 全文可 |
| 平成 30年度 (2018年度) | 看護学専攻 | 訪問看護師の「寄り添う」体験 | 全文可 |
| 平成 30年度 (2018年度) | 看護学専攻 | 壮年期患者への看護師のかかわり:看護師のかかわりづらさに焦点をあてて | 全文可 |

日本赤十字看護大学 修士論文

| | | | |
|---------------------|-------|--|----------|
| 平成 30年度 (2018年度) | 看護学専攻 | 訪問看護師が心不全患者の生活や身体の“いつもの違い”から心不全の増悪を判断する過程 | 全文可 |
| 平成 30年度 (2018年度) | 看護学専攻 | 集中治療室(ICU)入室患者のせん妄予防に対する音楽療法の効果 | 複写可/条件あり |
| 平成 30年度 (2018年度) | 看護学専攻 | 中堅看護師の学習動機づけ、影響要因および学習行動との関連 | 複写可/条件あり |
| 平成 30年度 (2018年度) | 看護学専攻 | 浅い鎮静中の人工呼吸器装着患者の主体性を支える看護実践 | 全文可 |
| 平成 30年度 (2018年度) | 看護学専攻 | ICU未経験の院内異動者の組織社会化 | 複写可/条件あり |
| 平成 30年度 (2018年度) | 看護学専攻 | 支援や自己の取り組みから導き出された臨終前後の患者の家族に対する看護師のかかわり方 | 全文可 |
| 平成 30年度 (2018年度) | 看護学専攻 | 糖尿病をもつ人の腎代替療法選択過程における看護の継続性:診療科の変更や病期の変化に焦点をあてて | 全文可 |
| 平成 30年度 (2018年度) | 看護学専攻 | NICU・GCU退院後の子どもと親へ関わるフォローアップ外来での看護師の支援 | 全文可 |
| 平成 30年度 (2018年度) | 看護学専攻 | 在宅酸素療法を必要とする人の病いと共に生きるための調整:生活者としての専門性を獲得するストーリー | 全文可 |
| 平成 30年度 (2018年度) | 看護学専攻 | がん患者と家族に対する外来看護師の臨床判断 | 結果部分は不可 |
| 平成 30年度 (2018年度) | 看護学専攻 | 地域づくりを推進する訪問看護師の実践 | 全文可 |

日本赤十字看護大学 修士論文

| | | | |
|---------------------|-------|--|----------|
| 平成 30年度 (2018年度) | 看護学専攻 | 臨地実習における看護学生のエンパワーメント尺度の開発:質問紙項目作成のための看護学生へのインタビュー調査 | 全不可 |
| 平成 30年度 (2018年度) | 看護学専攻 | 化学療法誘発性末梢神経障害を体験するがん患者の治療継続に関する揺らぎ | 全文可 |
| 平成 30年度 (2018年度) | 看護学専攻 | 退院支援看護師との連携における退院支援係を経験した病棟看護師の実践 | 全文可 |
| 平成 30年度 (2018年度) | 看護学専攻 | 日常生活における終末期がん患者の生きる力を支える看護援助 | 全不可 |
| 平成 30年度 (2018年度) | 看護学専攻 | 緩和ケア病棟へ異動したキャリア後期看護師の体験 | 複写可/条件あり |
| 平成 30年度 (2018年度) | 看護学専攻 | 高齢者が血液透析をうけて生活することへの思い | 結果部分は不可 |
| 平成 30年度 (2018年度) | 看護学専攻 | 急性期病院における看護師長同士の関係性の看護管理への影響 | 結果部分は不可 |
| 平成 30年度 (2018年度) | 看護学専攻 | 集中治療室における慢性の病いととも生きる人の全人的苦痛を和らげるEnd of Life Care:急性・重症患者看護専門看護師の関わりに焦点をあてて | 結果部分は不可 |
| 平成 30年度 (2018年度) | 看護学専攻 | 教育担当者が新人看護職員を部署スタッフ全員で育てるために行った働きかけの工夫 | 全文可 |
| 平成 30年度 (2018年度) | 看護学専攻 | 他者との交流が乏しい患者たち:精神科地域移行病棟におけるフィールドワークから | 全文可 |
| 平成 30年度 (2018年度) | 看護学専攻 | クリティカルケア領域における看護師の先見性:思考と行動に焦点を当てて | 全文可 |

日本赤十字看護大学 修士論文

| | | | |
|---------------------|---------------|--------------------------------------|-----|
| 平成 30年度 (2018年度) | 国際保健 助産学専攻 | 産後2週間健診に同席する祖母に対する助産師の支援の実際 | 全文可 |
| 平成 30年度 (2018年度) | 国際保健 助産学専攻 | 妊婦向けアプリを活用する女性の体験 | 全文可 |
| 平成 30年度 (2018年度) | 国際保健 助産学専攻 | 助産学生が性と生殖に関する健康相談を受けた体験 | 全文可 |
| 平成 30年度 (2018年度) | 国際保健 助産学専攻 | 看護系大学生の産後うつ発見に関する知識と役割認識の関係 | 全文可 |
| 平成 30年度 (2018年度) | 国際保健 助産学専攻 | 就労が女性の更年期症状に及ぼす影響に関する文献研究 | 全文可 |
| 平成 30年度 (2018年度) | 国際保健 助産学専攻 | 出産後1年未満に復職する就労女性の母乳育児継続に関連する要因 | 全文可 |
| 平成 30年度 (2018年度) | 国際保健 助産学専攻 | 短時間勤務制度を利用している分娩介助を行う助産師の業務上の困難と対処方法 | 全文可 |
| 平成 30年度 (2018年度) | 国際保健 助産学専攻 | 病院での助産師によるフリースタイル分娩導入のプロセス | 全文可 |
| 平成 30年度 (2018年度) | 国際保健 助産学専攻 | 自然災害発生後の母子支援に関する文献研究 | 全文可 |
| 平成 30年度 (2018年度) | 国際保健 助産学専攻 | 助産外来における助産師の母子健康手帳を活用した妊婦への支援の実際 | 全文可 |
| 平成 30年度 (2018年度) | 国際保健 助産学専攻 | 双子の母親に対する開業助産師の母乳育児支援 | 全文可 |

日本赤十字看護大学 修士論文

| | | | |
|---------------------|---------------|---|----------|
| 平成 30年度 (2018年度) | 国際保健 助産学専攻 | 育児中の専業主婦が夫から支えられた体験 | 全文可 |
| 平成 30年度 (2018年度) | 国際保健 助産学専攻 | パートナーからの母乳育児サポートと母乳育児満足感との関連 | 全文可 |
| 平成 30年度 (2018年度) | 国際保健 助産学専攻 | 出産経験のない生殖年齢の女性が抱く無痛分娩への希望とその理由 | 全文可 |
| 平成 30年度 (2018年度) | 国際保健 助産学専攻 | 初めての育児に取り組む母親の孤独感の体験 | 全文可 |
| 平成 29年度 (2017年度) | 看護学専攻 | 新人看護師の体験：新人から中堅までの軌跡 | 複写可/条件あり |
| 平成 29年度 (2017年度) | 看護学専攻 | 創傷ケアを必要とする人の生活の営み： 血流障害を合併した糖尿病足病変で 外来通院する人に焦点をあてて | 全文可 |
| 平成 29年度 (2017年度) | 看護学専攻 | 積極的治療の適応外となってきた悪性リンパ腫患者に対する病棟看護師の意 思決定につなぐかかわり | 全文可 |
| 平成 29年度 (2017年度) | 看護学専攻 | 一般病棟において認知機能低下のある高齢者の意思を捉えて関わる看護師の 判断プロセス | 複写可/条件あり |
| 平成 29年度 (2017年度) | 看護学専攻 | 小児期に糖尿病を発症した人の青年期・成人前期における経験：変化と対処 に焦点をあてて | 複写可/条件あり |
| 平成 29年度 (2017年度) | 看護学専攻 | 日常的に医療的ケアを必要とする小児慢性特定疾病がある子どもの地域生活 における支援ニーズの実態 | 全文可 |
| 平成 29年度 (2017年度) | 看護学専攻 | 急性・重症患者看護専門看護師の患者の家族とのかかわり:集中治療室に緊急 入室した重症患者の家族に焦点をあてて | 全文可 |

日本赤十字看護大学 修士論文

| | | | |
|---------------------|-------|---|----------|
| 平成 29年度 (2017年度) | 看護学専攻 | 造血幹細胞移植チームの医師と看護師間の倫理的問題と看護師長の対応に関するナラティブ研究 | 全文可 |
| 平成 29年度 (2017年度) | 看護学専攻 | 新人看護師との関わりを語る会を通してプリセプターに起こる変化 | 複写可/条件あり |
| 平成 29年度 (2017年度) | 看護学専攻 | 治療を受けている進行がん患者の苦悩に対する看護師の関わりの様相 | 複写可/条件あり |
| 平成 29年度 (2017年度) | 看護学専攻 | 重症心身障がい児とその家族への看護実践の魅力 | 全文可 |
| 平成 29年度 (2017年度) | 看護学専攻 | 高齢臓器がん患者の手術体験 | 複写可/条件あり |
| 平成 29年度 (2017年度) | 看護学専攻 | 小児病棟で働く看護師の自信につながった子どもと家族への看護実践: 卒後3年目の実践を振り返って | 全文可 |
| 平成 29年度 (2017年度) | 看護学専攻 | 看護専門学校の看護教員が感じる職務上の困難と専門職としての取り組みとの関連 : 4~10年目の看護教員に焦点をあてて | 全文可 |
| 平成 29年度 (2017年度) | 看護学専攻 | 小児集中治療室に入室している子どもの親が抱く思いやニーズに対する看護実践 | 全文可 |
| 平成 29年度 (2017年度) | 看護学専攻 | 精神科慢性期病棟における茶話会グループの実践: 長期入院患者を対象としたグループの諸相 | 全文可 |
| 平成 29年度 (2017年度) | 看護学専攻 | 2年目看護師の看護業務の遂行における思考と行動: 先輩看護師とのかかわりを中心とした主体性 | 全文可 |
| 平成 29年度 (2017年度) | 看護学専攻 | 看護師にとってのカンファレンスの意味 | 複写可/条件あり |

日本赤十字看護大学 修士論文

| | | | |
|---------------------|-------|---|----------|
| 平成 29年度 (2017年度) | 看護学専攻 | 家族との関わりが乏しい中年期の患者たち:精神科男性閉鎖病棟における参与観察から | 全文可 |
| 平成 29年度 (2017年度) | 看護学専攻 | 初回化学療法を受けた急性白血病患者の生活上の選択や判断の様相 | 複写可/条件あり |
| 平成 29年度 (2017年度) | 看護学専攻 | 結婚・出産経験がある壮年期から老年期の女性患者: 精神科女性閉鎖病棟での参与観察から | 全文可 |
| 平成 29年度 (2017年度) | 看護学専攻 | 長野県の災害時孤立リスクのある集落を支援する へき地医療拠点病院の防災対策上の課題: 医療機関の連携体制に焦点を当てて | 全文可 |
| 平成 29年度 (2017年度) | 看護学専攻 | 病院内委員会活動に参加する25歳から34歳の女性看護師の役割に対する認識 | 全文可 |
| 平成 29年度 (2017年度) | 看護学専攻 | 2型糖尿病をもつ就労している壮年期男性の仕事と通院を続ける体験 | 複写可/条件あり |
| 平成 29年度 (2017年度) | 看護学専攻 | 外来化学療法を継続する高齢がん患者とその配偶者の病いをめぐる体験 | 全文可 |
| 平成 29年度 (2017年度) | 看護学専攻 | 病院以外で母性看護学実習を展開する上での工夫と課題:看護専門学校 教員に焦点を当てて | 全文可 |
| 平成 29年度 (2017年度) | 看護学専攻 | 急性期病院へ入院中の認知機能の低下した高齢者が院内デイケアへ参加する 体験 | 複写可/条件あり |
| 平成 29年度 (2017年度) | 看護学専攻 | 優れた看護部長のライフストーリー | 複写可/条件あり |
| 平成 29年度 (2017年度) | 看護学専攻 | 妊娠期に入院した第2子妊娠中の母親が第1子との分離に伴い抱く思い | 全文可 |

日本赤十字看護大学 修士論文

| | | | |
|---------------------|---------------|---|------|
| 平成 29年度 (2017年度) | 看護学専攻 | クリティカルケア経験のある熟練助産師の分娩時危機的状況における先見性と行動 | 全文可 |
| 平成 29年度 (2017年度) | 看護学専攻 | ブータン王国ティンブー県母子ヘルスセンターにおける乳幼児の成長と栄養摂取の実態調査 | 複写不可 |
| 平成 29年度 (2017年度) | 看護学専攻 | 熟練助産師による入院中の未受診妊婦に対する産褥期の支援 | 全文可 |
| 平成 29年度 (2017年度) | 看護学専攻 | 高年初産婦に対する妊娠期のセルフエクササイズ ヨガプログラムの開発と評価 | 全文可 |
| 平成 29年度 (2017年度) | 看護学専攻 | 夫と二人で育児に取り組むことを計画した高年初産婦の産後1か月の生活 | 全文可 |
| 平成 29年度 (2017年度) | 国際保健 助産学専攻 | 地域母子保健活動に携わる開業助産師が虐待を疑った体験 | 全文可 |
| 平成 29年度 (2017年度) | 国際保健 助産学専攻 | 周産期医療者が不足している地域で 出産を支えるチーム医療の工夫： 茨城県県北地区の取組みに焦点を当てて | 全文可 |
| 平成 29年度 (2017年度) | 国際保健 助産学専攻 | 平時における妊産褥婦の自助を高める助産師の支援 | 全文可 |
| 平成 29年度 (2017年度) | 国際保健 助産学専攻 | 分娩室勤務交代時に助産師が口頭で伝え合うこと | 全文可 |
| 平成 29年度 (2017年度) | 国際保健 助産学専攻 | 旅行を希望する妊婦に対して開業助産師が行うケアの実際 | 全文可 |
| 平成 29年度 (2017年度) | 国際保健 助産学専攻 | 夫婦の育児共同感を高める開業助産師の支援 | 全文可 |

日本赤十字看護大学 修士論文

| | | | |
|---------------------|---------------|---|----------|
| 平成 29年度 (2017年度) | 国際保健 助産学専攻 | 20代女性への将来の妊娠や出産に向けた支援に関する病院勤務助産師の認識 | 全文可 |
| 平成 29年度 (2017年度) | 国際保健 助産学専攻 | 第2子妊娠中に切迫早産で入院した経産婦とその家族への助産師の関わり | 全文可 |
| 平成 29年度 (2017年度) | 国際保健 助産学専攻 | 妊婦が冷え症改善を試みた体験 | 全文可 |
| 平成 29年度 (2017年度) | 国際保健 助産学専攻 | NICUでの親子関係構築に対するスタッフの経験 — 入院後からファーストタッチまでに焦点をあてて — | 全文可 |
| 平成 29年度 (2017年度) | 国際保健 助産学専攻 | NICU/GCUに入院した子どもを持つ母親が搾乳を継続する上で家族から支えられた体験 | 全文可 |
| 平成 29年度 (2017年度) | 国際保健 助産学専攻 | 思春期を対象とした助産師の性教育に関する文献研究 | 全文可 |
| 平成 28年度 (2016年度) | 看護学専攻 | 夜尿症と診断された子どもの学童期の宿泊行事に向けて母親がとった夜尿対処行動 | 結果部分は不可 |
| 平成 28年度 (2016年度) | 看護学専攻 | 高齢者の終末期在宅療養生活における訪問看護師がかかわる場づくりと家族支援 | 全文可 |
| 平成 28年度 (2016年度) | 看護学専攻 | 慢性呼吸器疾患患者の仕事に関わるセルフマネジメントの方略 | 全文可 |
| 平成 28年度 (2016年度) | 看護学専攻 | 急性期病院において認知機能の低下した高齢者のケアに携わる中堅看護師の感情体験 | 全文可 |
| 平成 28年度 (2016年度) | 看護学専攻 | 就任3年未満の師長同士による「フレッシュマネジャーの会」のアクションリサーチ | 複写可/条件あり |

日本赤十字看護大学 修士論文

| | | | |
|---------------------|-------|---|---------|
| 平成 28年度 (2016年度) | 看護学専攻 | 被災地看護師の仕事と家庭の間で生じた葛藤と対処行動: 東日本大震災での体験の語りから | 全文可 |
| 平成 28年度 (2016年度) | 看護学専攻 | 就労を目指す高次脳機能障害をもつ人の回復の歩み: 他者とのかわりに焦点をあてて | 全文可 |
| 平成 28年度 (2016年度) | 看護学専攻 | 小児集中治療室(PICU)に勤務する看護師の看護実践上の困難と関連要因 | 全文可 |
| 平成 28年度 (2016年度) | 看護学専攻 | メンタルヘルスの不調により休職した看護師に対して看護師長が行う復職支援 | 結果部分は不可 |
| 平成 28年度 (2016年度) | 看護学専攻 | 東日本大震災における被災地内の集中治療室で看護業務の継続を困難にした出来事と要因: 震度6弱以上を経験したリーダーレベルの看護師からの聞き取り調査より | 全文可 |
| 平成 28年度 (2016年度) | 看護学専攻 | 東日本大震災により家族を喪失した遺族の感情に関する文献研究: 東北3県の地方紙の分析から | 全文可 |
| 平成 28年度 (2016年度) | 看護学専攻 | 外来化学療法を受ける乳がん患者の就労に関する体験 | 全文可 |
| 平成 28年度 (2016年度) | 看護学専攻 | 人材育成を意識して看護スタッフへの役割の任命を行っている看護師長の判断と支援 | 全文可 |
| 平成 28年度 (2016年度) | 看護学専攻 | 長期入院の統合失調症患者の対人関係の様相: 小規模単科精神科病院での参加観察から | 全文可 |
| 平成 28年度 (2016年度) | 看護学専攻 | 在宅で療養生活を継続している慢性心不全患者の体調を維持するための取り組み: 後期高齢者に焦点を当てて | 全文可 |
| 平成 28年度 (2016年度) | 看護学専攻 | 認定看護師を部下に持つ病棟看護師長の看護の質向上のためのマネジメント: 慢性呼吸器疾患看護認定看護師に焦点をあてて | 全文可 |

日本赤十字看護大学 修士論文

| | | | |
|---------------------|-------|--|---------|
| 平成 28年度 (2016年度) | 看護学専攻 | 病いとともに生きる人が捉える医療者とのパートナーシップ:脳腫瘍患者に焦点を当てて | 全文可 |
| 平成 28年度 (2016年度) | 看護学専攻 | 若年成人期に精巣腫瘍の診断・治療を受けた人の経験 | 結果部分は不可 |
| 平成 28年度 (2016年度) | 看護学専攻 | がんに伴う悪性腸閉塞によりストーマを持つ患者への看護師の関わり | 結果部分は不可 |
| 平成 28年度 (2016年度) | 看護学専攻 | 日本におけるレシピエント移植コーディネーターが行う生体肝移植患者と家族に対する意思決定支援 | 結果部分は不可 |
| 平成 28年度 (2016年度) | 看護学専攻 | 小児慢性腎疾患がある幼児後期の子どもに病気を知る機会をもたらす看護師の実践 | 全文可 |
| 平成 28年度 (2016年度) | 看護学専攻 | 看護師の離職が多い病棟で離職を減少させた看護師長のマネジメント | 全文可 |
| 平成 28年度 (2016年度) | 看護学専攻 | 集中治療室に入室した高齢者の終末期医療に関する意思の把握:看護師による意思把握の実態と関連要因の検討 | 全文可 |
| 平成 28年度 (2016年度) | 看護学専攻 | 終末期患者のスピリチュアルペインに対して看護師が実践するスピリチュアルケア | 複写不可 |
| 平成 28年度 (2016年度) | 看護学専攻 | 看護大学生の緩和ケア実習におけるスピリチュアルケアに関する看護師の指導 | 全文可 |
| 平成 28年度 (2016年度) | 看護学専攻 | 病棟看護師の腰痛の現状と腰痛体操を行った変化のプロセス | 全文可 |
| 平成 28年度 (2016年度) | 看護学専攻 | DPCⅢ群の急性期病院の一般病棟における看護師長の適正な看護配置 | 全文可 |

日本赤十字看護大学 修士論文

| | | | |
|---------------------|---------------|--|-----|
| 平成 28年度 (2016年度) | 国際保健 助産学専攻 | 妊婦健診未受診のまま分娩にいたった若年褥婦の産褥入院中のケアに携わる助産師の体験 | 全文可 |
| 平成 28年度 (2016年度) | 国際保健 助産学専攻 | 鍼灸治療を受ける妊婦が抱く健康行動の変化についての自覚 | 全文可 |
| 平成 28年度 (2016年度) | 国際保健 助産学専攻 | 公共の場で我が子が泣いたときの都市部に居住する親の体験 | 全文可 |
| 平成 28年度 (2016年度) | 国際保健 助産学専攻 | 20～30歳代の出産経験のない就労女性の婦人科受診行動に関する影響要因 | 全文可 |
| 平成 28年度 (2016年度) | 国際保健 助産学専攻 | 妊婦健診の初診時に妊娠に戸惑っている女性に関わる助産師の体験 | 全文可 |
| 平成 28年度 (2016年度) | 国際保健 助産学専攻 | 開業助産師の10代妊婦への支援 | 全文可 |
| 平成 28年度 (2016年度) | 国際保健 助産学専攻 | 東日本大震災の原発事故によって避難した母子を支援した助産師の体験 | 全文可 |
| 平成 28年度 (2016年度) | 国際保健 助産学専攻 | 緊急母体搬送時の困難に取り組む助産所助産師の経験 | 全文可 |
| 平成 28年度 (2016年度) | 国際保健 助産学専攻 | 月経前症候群を抱える就労女性の体験 | 全文可 |
| 平成 28年度 (2016年度) | 国際保健 助産学専攻 | タッチケア教室を開催する助産師の体験 | 全文可 |
| 平成 28年度 (2016年度) | 国際保健 助産学専攻 | ドメスティック・バイオレンス加害者更生教育を学んだ助産師の体験 | 全文可 |

日本赤十字看護大学 修士論文

| | | | |
|---------------------|---------------|--|----------|
| 平成 28年度 (2016年度) | 国際保健 助産学専攻 | 産褥入院期間の初産婦の夫に対する助産師の支援の実際:夫への直接的な関わり に焦点を当てて | 全文可 |
| 平成 28年度 (2016年度) | 国際保健 助産学専攻 | 病院勤務助産師がマタニティクラスで産痛を説明する思い | 全文可 |
| 平成 27年度 (2015年) | 看護学専攻 | 療養介護病棟における看護師と療養介助職の協働 | 全文可 |
| 平成 27年度 (2015年) | 看護学専攻 | 救命救急センターの集中治療室において無鎮静で人工呼吸器を装着した人の 体験 | 全文可 |
| 平成 27年度 (2015年) | 看護学専攻 | 急性期病棟看護師が持つべき全人的に患者をアセスメントするための視点を身 につけることへつながった過程 ー退院支援に着目してー | 結果は不可 |
| 平成 27年度 (2015年) | 看護学専攻 | 糖尿病をもつ親から子どもの健康への働きかけと関連要因 ー小中学生の子どもをもつ2型糖尿病患者に焦点をあててー | 全文可 |
| 平成 27年度 (2015年) | 看護学専攻 | 看護学実習での学生の患者ケア場面における看護教員の実践の様相 | 全文可 |
| 平成 27年度 (2015年) | 看護学専攻 | 新卒訪問看護師の就業上の困難および対処と必要とする支援 | 全文可 |
| 平成 27年度 (2015年) | 看護学専攻 | 対応が難しい新卒看護師がいる病棟の看護師長のマネジメント | 複写可/条件あり |
| 平成 27年度 (2015年) | 看護学専攻 | クリティカルケア領域の新卒看護師が卒後12ヶ月目に独り立ちした直後の看護 実践上の体験 | 全文可 |
| 平成 27年度 (2015年) | 看護学専攻 | 多職種協働で取り組む退院支援のあり方 ーアウトカム・マネジメントを用いたアクションリサーチを通してー | 全文可 |

日本赤十字看護大学 修士論文

| | | | |
|--------------------|-------|---|----------|
| 平成 27年度 (2015年) | 看護学専攻 | 精神科病棟に勤務する看護師の引っ越しに伴う体験 | 全文可 |
| 平成 27年度 (2015年) | 看護学専攻 | 他職種が求める協働上に必要な看護師の役割－災害拠点病院の中等症傷病者受け入れエリアに視点をあてて－ | 全文可 |
| 平成 27年度 (2015年) | 看護学専攻 | 在宅維持期における重症心身障がいのある学童への訪問看護師の実践 | 全文可 |
| 平成 27年度 (2015年) | 看護学専攻 | 緊急入院をした急性期にある幼児と付き添う家族への看護師のかかわり | 全文可 |
| 平成 27年度 (2015年) | 看護学専攻 | TQMの成功関連要因からみた「5S-KAIZEN-TQM」活動の実態と課題 －セネガル共和国の病院スタッフの認識からの分析－ | 全文可 |
| 平成 27年度 (2015年) | 看護学専攻 | 代用音声としてシャント発声法を用いる喉頭摘出者の体験 | 結果は不可 |
| 平成 27年度 (2015年) | 看護学専攻 | くも膜下出血患者のスパズム期における体験 | 結果は不可 |
| 平成 27年度 (2015年) | 看護学専攻 | 緩和ケア病棟に入院する患者・家族の療養場所移行に関する看護師の実践 | 結果は不可 |
| 平成 27年度 (2015年) | 看護学専攻 | 神経難病をもつ人の「自分らしく生きること」を支える訪問看護師の支援 | 全文可 |
| 平成 27年度 (2015年) | 看護学専攻 | キャリア形成期に、子育てしながら就業継続している助産師のワーク・ライフ・バランスの構造 | 複写可/条件あり |
| 平成 27年度 (2015年) | 看護学専攻 | 急性期病院に入院中の脳血管疾患高齢患者に関わる看護師の臨床判断 | 結果は不可 |

日本赤十字看護大学 修士論文

| | | | |
|--------------------|---------------|---|----------|
| 平成 27年度 (2015年) | 看護学専攻 | 積極的治療が困難となる時期のがん患者にかかわるチーム医療に関する中堅看護師の実践 | 結果は不可 |
| 平成 27年度 (2015年) | 看護学専攻 | 身体を通して訴える患者 －精神科閉鎖病棟での参与観察から－ | 全文可 |
| 平成 27年度 (2015年) | 看護学専攻 | 病院機能の転換に伴い看護師長が経験する状況の言語化 －アクションリサーチを通しての看護管理プロセスの明確化－ | 複写可/条件あり |
| 平成 27年度 (2015年) | 看護学専攻 | 病院の変革期に看護係長が考える自らの役割 －アクションリサーチの手法を用いて－ | 結果は不可 |
| 平成 27年度 (2015年) | 看護学専攻 | 頭頸部がん再建術の周術期にある患者に対する看護師の関わり | 結果は不可 |
| 平成 27年度 (2015年) | 国際保健 助産学専攻 | 両親学級に参加した親となる夫婦に対する助産師の支援 | 全文可 |
| 平成 27年度 (2015年) | 国際保健 助産学専攻 | 子ども立会い出産に対する熟練助産師の支援の実際 | 全文可 |
| 平成 27年度 (2015年) | 国際保健 助産学専攻 | 小学校で5年以上継続して性教育を行う助産師の体験 | 全文可 |
| 平成 27年度 (2015年) | 国際保健 助産学専攻 | 男性パートナーとの性感染症予防に関するパートナーシップ －20歳から30歳代の女性に焦点をあてて－ | 結果は不可 |
| 平成 27年度 (2015年) | 国際保健 助産学専攻 | 孫育児を行う祖父母の孫育児情報の活用 | 全文可 |
| 平成 27年度 (2015年) | 国際保健 助産学専攻 | 妊産褥婦に乳がん啓発を行う助産師の体験 | 全文可 |

日本赤十字看護大学 修士論文

| | | | |
|--------------------|---------------|---|-----|
| 平成 27年度 (2015年) | 国際保健 助産学専攻 | 緊急帝王切開分娩となった女性とともに パースレビューを行う助産師の体験 | 全文可 |
| 平成 27年度 (2015年) | 国際保健 助産学専攻 | 月経周期異常の娘をもつ母親の体験 | 全文可 |
| 平成 27年度 (2015年) | 国際保健 助産学専攻 | 働く母親が母乳育児を継続した体験 | 全文可 |
| 平成 27年度 (2015年) | 国際保健 助産学専攻 | 妊娠期から育児期にある父親の母子健康手帳に対する認知と活用 ～対児感情との関連～ | 全文可 |
| 平成 27年度 (2015年) | 国際保健 助産学専攻 | 分娩第1期を1人で過ごす産婦へのケアに対する助産師の思い | 全文可 |
| 平成 27年度 (2015年) | 国際保健 助産学専攻 | 産褥入院中の母親が育児を「できる」と感じた体験 | 全文可 |
| 平成 27年度 (2015年) | 国際保健 助産学専攻 | 新生児訪問における保健師との連携に対する助産師の思い | 全文可 |
| 平成 27年度 (2015年) | 国際保健 助産学専攻 | 開業助産師が嘱託医療機関と連携を築くための工夫 | 全文可 |
| 平成 27年度 (2015年) | 国際保健 助産学専攻 | 正常な妊娠経過を辿った就労女性の生活上の工夫 ー運動量の多い職種に焦点をあててー | 全文可 |
| 平成 27年度 (2015年) | 国際保健 助産学専攻 | 助産師がおこなう出産前教育における育児準備の意味 | 全文可 |
| 平成 26年度 (2014年) | 看護学専攻 | 倫理的意思決定にむけての看護チームの実践 | 全文可 |

日本赤十字看護大学 修士論文

| | | | |
|--------------------|-------|--|-------|
| 平成 26年度 (2014年) | 看護学専攻 | 外来化学療法室に勤務する看護師の看護援助の体験 | 全文可 |
| 平成 26年度 (2014年) | 看護学専攻 | 一人暮らしの終末期がん患者の在宅療養に携わる訪問看護師の実践 | 全文可 |
| 平成 26年度 (2014年) | 看護学専攻 | がんの再発・転移のある壮年期女性患者の母親が抱く思い | 結果は不可 |
| 平成 26年度 (2014年) | 看護学専攻 | 在宅酸素療法を受けながら社会生活を営む人の体験 | 結果は不可 |
| 平成 26年度 (2014年) | 看護学専攻 | 糖尿病をもつ周手術期患者への関わりにおける困難と関連要因-消化器外科病棟で働く看護師に焦点を当てて- | 結果は不可 |
| 平成 26年度 (2014年) | 看護学専攻 | 集中治療室に入室した患者の支えとなった体験-循環器疾患患者に焦点をあてて- | 結果は不可 |
| 平成 26年度 (2014年) | 看護学専攻 | 3次救急医療機関の初療室に搬送された患者の家族ケアにおける熟練看護師の取り組み | 結果は不可 |
| 平成 26年度 (2014年) | 看護学専攻 | 心臓外科手術を受けた患者の退院後を見越した看護師の関わり | 結果は不可 |
| 平成 26年度 (2014年) | 看護学専攻 | 精神科病院女性閉鎖病棟における相互交流の様相-「とまり木」の試み- | 全文可 |
| 平成 26年度 (2014年) | 看護学専攻 | 甘えの観点から見た精神科男女混合慢性期閉鎖病棟における患者との関わりの特徴 | 全文可 |
| 平成 26年度 (2014年) | 看護学専攻 | ウォーキングカンファレンスを活かした乳幼児の看護 | 全文可 |

日本赤十字看護大学 修士論文

| | | | |
|--------------------|-------|--|-------------|
| 平成 26年度 (2014年) | 看護学専攻 | 小児集中治療室(PICU)に入室している鎮静下の幼児の表情を捉えたケア | 全文可 |
| 平成 26年度 (2014年) | 看護学専攻 | 手術を受ける幼児の移送において病棟看護師が家族にかかわることの意味 | 全文可 |
| 平成 26年度 (2014年) | 看護学専攻 | 重症心身障がい児の定期的レスパイト入院中に行う在宅ケアの調整に向けた看護師のかかわり | 全文可 |
| 平成 26年度 (2014年) | 看護学専攻 | 看護師が行う短期入院している乳幼児の状況に合わせた清潔ケア | 全文可 |
| 平成 26年度 (2014年) | 看護学専攻 | 在宅酸素療法導入患者の退院支援における連携・退院後の状況把握・看護師満足度に関連する要因の検討 | 全文可 |
| 平成 26年度 (2014年) | 看護学専攻 | 血液透析を受けている高齢患者に関わる看護師の思い -高齢患者の死にまつわる事前の意思表示に焦点を当て- | 結果以降は不可 |
| 平成 26年度 (2014年) | 看護学専攻 | 病院附帯の3年課程看護専門学校のトップマネジャーによる看護教員育成の現状と取り組み | 結果は不可 |
| 平成 26年度 (2014年) | 看護学専攻 | 看護学実習においてティーチング・アシスタントをした大学院生の体験 | 複写不可 |
| 平成 26年度 (2014年) | 看護学専攻 | キャリアの方向性に迷い悩み続ける中堅看護師の体験 | 複写不可 |
| 平成 26年度 (2014年) | 看護学専攻 | 看護専門学校で働く看護教員の大学院修士課程修了による資質・能力の変化の自己評価とその関連要因 | 付録の表及び資料は不可 |
| 平成 26年度 (2014年) | 看護学専攻 | 看護師長が導き出した病棟経営の方針と方針を導き出すプロセス-病床管理検討会を通して- | 全文可 |

日本赤十字看護大学 修士論文

| | | | |
|--------------------|---------------|---|-------|
| 平成 26年度 (2014年) | 看護学専攻 | 急性期病院に勤務する看護師のロイヤリティによる職務満足度、離職意図の相違 | 全文可 |
| 平成 26年度 (2014年) | 看護学専攻 | 急性期病院において看護師が看護補助者に患者の直接的ケアを委託する際のマネジメント | 全文可 |
| 平成 26年度 (2014年) | 看護学専攻 | 病院新築による看護提供環境の変化への適応を目指した病棟看護スタッフの取り組み-NICU・GCUの半個室化に焦点を当てて- | 全文可 |
| 平成 26年度 (2014年) | 看護学専攻 | 看護師長が体験したクリティカルケア領域の終末期における倫理的ジレンマとその対応 | 結果は不可 |
| 平成 26年度 (2014年) | 看護学専攻 | 医療依存度が高い患者の在宅療養移行に向けた病院と病院に併設する訪問看護ステーションの連携 | 全文可 |
| 平成 26年度 (2014年) | 看護学専攻 | 東日本大震災の津波発生時に避難誘導を行った高齢者通所介護施設職員の安全確保に関する体験 | 全文可 |
| 平成 26年度 (2014年) | 看護学専攻 | 東日本大震災の被災地に居住する外国人妻が避難所生活を送る中で生じる思い | 全文可 |
| 平成 26年度 (2014年) | 看護学専攻 | 東日本大震災時の沿岸地域の孤立集落における住民の共助活動 | 不明 |
| 平成 26年度 (2014年) | 看護学専攻 | 東日本大震災後に仮設住宅で暮らす排泄に関する問題をもつ人の体験 | 不明 |
| 平成 26年度 (2014年) | 国際保健 助産学専攻 | Baby-Friendly Hospitalにおける母乳育児支援と母乳育児自己効力感に関する調査-ボンディング障害、抑うつを含めた産後1ヶ月までの縦断的研究- | 不明 |
| 平成 26年度 (2014年) | 国際保健 助産学専攻 | 生殖年齢で未婚の婦人科がん患者の子宮全摘出に伴う心理過程 | 全文可 |

日本赤十字看護大学 修士論文

| | | | |
|--------------------|---------------|--------------------------------------|----------|
| 平成 26年度 (2014年) | 国際保健 助産学専攻 | 就労妊婦が受けているソーシャル・サポート | 全文可 |
| 平成 26年度 (2014年) | 国際保健 助産学専攻 | 救命救急センターに勤務する看護師の妊産婦ケアに対する認識 | 全文可 |
| 平成 26年度 (2014年) | 国際保健 助産学専攻 | 実産後3～4ヶ月における核家族の母親の育児体験 | 全文可 |
| 平成 26年度 (2014年) | 国際保健 助産学専攻 | 妊婦健診に同行する夫への助産外来助産師が行うケアの実際 | 全文可 |
| 平成 26年度 (2014年) | 国際保健 助産学専攻 | 妊婦健診に行く母親に同行した幼児への助産所における助産師の関わり | 全文可 |
| 平成 26年度 (2014年) | 国際保健 助産学専攻 | 助産師外来において妊婦健康診査時に超音波断層法を用いる助産師が抱く思い | 全文可 |
| 平成 26年度 (2014年) | 国際保健 助産学専攻 | 周産期におけるドメスティック・バイオレンスの加害者と関わった助産師の体験 | 全文可 |
| 平成 26年度 (2014年) | 国際保健 助産学専攻 | 北インドにおいて活動を継続してきた地域ヘルスポランティアの体験 | 結果は不可 |
| 平成 26年度 (2014年) | 国際保健 助産学専攻 | 早期流産を経験した母親へのケアにおける熟練助産師の外来での体験 | 全文可 |
| 平成 26年度 (2014年) | 国際保健 助産学専攻 | 緊急帝王切開術後早期に母乳育児を行った母親の体験 | 複写不可 |
| 平成 25年度 (2013年) | 看護学専攻 | 抗がん剤治療を継続する進行期肺がん患者の体験 | 複写可/条件あり |

日本赤十字看護大学 修士論文

| | | | |
|--------------------|-------|---|----------|
| 平成 25年度 (2013年) | 看護学専攻 | 外来治療を受けながら生活する転移のある高齢前立腺がん患者の体験 | 複写可/条件あり |
| 平成 25年度 (2013年) | 看護学専攻 | 末期状態の慢性心不全患者に関わる看護師が感じる葛藤と関連要因 | 不明 |
| 平成 25年度 (2013年) | 看護学専攻 | 人工呼吸器を装着した意思の疎通が困難な患者への集中治療室看護師の関わり | 複写可/条件あり |
| 平成 25年度 (2013年) | 看護学専攻 | 慢性心不全患者の退院指導における困難と関連要因の検討 | 不明 |
| 平成 25年度 (2013年) | 看護学専攻 | 脱施設化に向かう精神科病院に長期入院する患者の生活と問い | 全文可 |
| 平成 25年度 (2013年) | 看護学専攻 | 長期入院患者を対象としたお茶会グループの実践 -精神科慢性期男女混合病棟におけるアクションリサーチ- | 全文可 |
| 平成 25年度 (2013年) | 看護学専攻 | 急性期の学童の院内学級に関する看護師の調整 | 全文可 |
| 平成 25年度 (2013年) | 看護学専攻 | 急性呼吸器疾患で入院中の幼児前期の子どもに装着しているパルスオキシメーターを外す看護師の判断 | 全文可 |
| 平成 25年度 (2013年) | 看護学専攻 | 認知症独居高齢者の在宅生活継続のための地域包括支援センター看護職のかかわり | 全文可 |
| 平成 25年度 (2013年) | 看護学専攻 | 在宅で生活する認知症高齢者の体験 -自分自身に対する思いに焦点をあてて- | 複写可/条件あり |
| 平成 25年度 (2013年) | 看護学専攻 | 実習期間中に受け持ち患者が亡くなる体験をした看護学生に対する臨地実習指導者のかかわり | 全文可 |
| 平成 25年度 (2013年) | 看護学専攻 | 担当領域の変更を経験しながら教員を継続している看護専門学校教員の思い | 複写不可 |
| 平成 25年度 (2013年) | 看護学専攻 | 臨地実習においてベテラン看護教員が行う病棟指導者との調整 | 複写不可 |
| 平成 25年度 (2013年) | 看護学専攻 | 看護系大学の実習指導におけるベテラン教員の学生の捉え方 | 複写不可 |
| 平成 25年度 (2013年) | 看護学専攻 | 分娩介助例数に応じた学生の学習状況に対する教員の判断と学習支援 | 全文可 |

日本赤十字看護大学 修士論文

| | | | |
|--------------------|---------------|--|-----|
| 平成 25年度 (2013年) | 看護学専攻 | 脳卒中患者の誤嚥性肺炎予防ケアに関する一般の看護師の問題解決における他職種チームの活用 | 全文可 |
| 平成 25年度 (2013年) | 看護学専攻 | スタッフの個人目標設定面談における看護師長のかかわり | 全文可 |
| 平成 25年度 (2013年) | 看護学専攻 | 日本赤十字社の看護職のこころのケア要員が東日本大震災で取り組んだこころのケアの実際 | 全文可 |
| 平成 25年度 (2013年) | 看護学専攻 | 経済連携協定に基づくフィリピン人看護師の看護実践の実態 | 全文可 |
| 平成 25年度 (2013年) | 看護学専攻 | 東日本大震災における被災地内の市町村保健師の活動実態 ～避難所到着後24時間に焦点をあてて～ | 不明 |
| 平成 25年度 (2013年) | 国際保健 助産学専攻 | 医療機関に勤務する看護職が地域防災活動に継続参加する理由 | 全文可 |
| 平成 25年度 (2013年) | 国際保健 助産学専攻 | 日本の難民認定申請者の健康課題 | 全文可 |
| 平成 25年度 (2013年) | 国際保健 助産学専攻 | 東日本大震災における看護師の行動 －院内の防災教育からの学びに焦点を当てて－ | 不明 |
| 平成 25年度 (2013年) | 国際保健 助産学専攻 | 継続保育室(GCU)や小児病棟から退院後4ヶ月までの子どもの母親が抱く医療的ケアについての思い | 全文可 |
| 平成 25年度 (2013年) | 国際保健 助産学専攻 | 産褥早期に母乳育児を困難に感じた母親の産後1か月までの体験-母乳のみで 児を育てている母親に焦点を当てて- | 全文可 |
| 平成 25年度 (2013年) | 国際保健 助産学専攻 | 産後1ヶ月以内の妻子と共に産後ケア施設を宿泊利用した父親の体験 | 不明 |
| 平成 25年度 (2013年) | 国際保健 助産学専攻 | 死産に直面した両親と児の援助に戸惑う助産師の体験 | 全文可 |

日本赤十字看護大学 修士論文

| | | | |
|--------------------|---------------|---------------------------------|-------|
| 平成 25年度 (2013年) | 国際保健 助産学専攻 | 結婚後に女性が子どもを産み育てることに関する看護学生の考え | 不明 |
| 平成 25年度 (2013年) | 国際保健 助産学専攻 | HIV陽性妊婦にかかわる助産師の体験 | 不明 |
| 平成 25年度 (2013年) | 国際保健 助産学専攻 | 母子異室制から母子同室制へ移行した病院で働く助産師の体験 | 不明 |
| 平成 25年度 (2013年) | 国際保健 助産学専攻 | 産後1か月までに母乳不足感を訴える母親への助産師の支援 | 不明 |
| 平成 25年度 (2013年) | 国際保健 助産学専攻 | 複数の助産師が勤務する助産所で行われている継続的なケアの工夫 | 不明 |
| 平成 25年度 (2013年) | 国際保健 助産学専攻 | 出産後に児の異常を告げられた母親に関わる助産師が抱いている思い | 不明 |
| 平成 25年度 (2013年) | 国際保健 助産学専攻 | 胎児異常と診断され妊娠の中断を選択した女性に関わる助産師の思い | 不明 |
| 平成 25年度 (2013年) | 国際保健 助産学専攻 | 20歳のやせ型女性のダイエットと妊娠に関する認識 | 不明 |
| 平成 25年度 (2013年) | 国際保健 助産学専攻 | 妊娠期に就業していた助産師の職場の人間関係に対する思い | 不明 |
| 平成 25年度 (2013年) | 国際保健 助産学専攻 | 総合病院に勤める助産師がとらえた分娩期に出現する嘔吐とその対応 | 不明 |
| 平成 24年度 (2012年) | 看護学専攻 | 脳卒中により食に関する困難を生じた人の体験 | 結果は不可 |

日本赤十字看護大学 修士論文

| | | | |
|--------------------|-------|--|--------------------|
| 平成 24年度 (2012年) | 看護学専攻 | 緩和ケア病棟における終末期がん患者の日常生活を支えるケア | 結果は不可 |
| 平成 24年度 (2012年) | 看護学専攻 | 積極的治療を終了し在宅での療養に移行したがん患者の体験 | 複写不可 |
| 平成 24年度 (2012年) | 看護学専攻 | 急性白血病に罹患し化学療法を受ける患者にとっての動くことの体験 | 結果は不可 |
| 平成 24年度 (2012年) | 看護学専攻 | 骨転移をきたして生活する乳がん患者の体験 | 結果は不可 |
| 平成 24年度 (2012年) | 看護学専攻 | クリティカルケア領域の看護師が抱くエイズ看護に対する感情とその関連要因の検討 | 全文可 |
| 平成 24年度 (2012年) | 看護学専攻 | 集中治療室で働く看護師が臨床判断を通して体験すること -困難と手ごたえに焦点をあてて- | 全文可 |
| 平成 24年度 (2012年) | 看護学専攻 | 「介護疲れ」をきっかけにストレスケア病棟へ入院した高齢女性患者たちの体験 -家族介護をめぐる語りより- | 全文可 |
| 平成 24年度 (2012年) | 看護学専攻 | 病棟ホールでの患者同士の関わりの様相 -精神科開放病棟における参加者観察より- | 全文可 |
| 平成 24年度 (2012年) | 看護学専攻 | 炎症性腸疾患で入院している思春期の子どもへの看護師のかかわり | 全文可 (ただし学内者に限る) |
| 平成 24年度 (2012年) | 看護学専攻 | 重篤な疾患・症状をもつ乳児期初期の子ども「泣き」をめぐる看護師の判断と対応の特徴 | 複写不可 |
| 平成 24年度 (2012年) | 看護学専攻 | 日帰り入院で食物負荷試験を受ける食物アレルギーを持つ幼児と家族への看護師のかかわり | 全文可 |

日本赤十字看護大学 修士論文

| | | | |
|--------------------|-------|--|-----------------------|
| 平成 24年度 (2012年) | 看護学専攻 | 都市部在住市民における 終末期療養場所の意思決定に関連する要因:年代別比較 | 全文可 |
| 平成 24年度 (2012年) | 看護学専攻 | 配偶者を看取った高齢男性介護者の体験 -夫として表出できない悲嘆- | 結果は不可 |
| 平成 24年度 (2012年) | 看護学専攻 | 准看護師教育の現状に対して准看護師養成所の教務主任が抱いている思い | 全文可 |
| 平成 24年度 (2012年) | 看護学専攻 | 看護専門学校に勤務する、 教員経験6~10年の看護教員の教師会議に対する思いの変化 | 全文可 |
| 平成 24年度 (2012年) | 看護学専攻 | 看護系大学院修士課程修了後 学校から看護系大学へ移動した教員の思い | 結果は不可 (本学大学院生は全文可) |
| 平成 24年度 (2012年) | 看護学専攻 | 実習カンファレンスにおける教員のかかわり | 全文可 |
| 平成 24年度 (2012年) | 看護学専攻 | 回復期リハビリテーション病棟における看護師の意識とケアの変化を起こすアクションリサーチ | 全文可 |
| 平成 24年度 (2012年) | 看護学専攻 | 急性期病院の病床管理における病棟看護師長の意思決定 | 全文可 |
| 平成 24年度 (2012年) | 看護学専攻 | 急性期病院における看護師と看護補助者の協働の実態 -直接ケアの提供に焦点を当てて- | 全文可 |
| 平成 24年度 (2012年) | 看護学専攻 | 看護師が時間外手当を申請する際の判断 | 全文可 |
| 平成 24年度 (2012年) | 看護学専攻 | 急性期病院において慢性閉塞性肺疾患の グッドプラクティスを多職種協働で構築するプロセス | 結果は不可 |

日本赤十字看護大学 修士論文

| | | | |
|--------------------|---------------|---|-----|
| 平成 24年度 (2012年) | 看護学専攻 | 社会人経験を持つ新卒看護師に対する看護師長のマネジメント -人的資源管理の視点から- | 全文可 |
| 平成 24年度 (2012年) | 看護学専攻 | 看護師長ではない看護職医療安全推進者の役割遂行のあり様 | 全文可 |
| 平成 24年度 (2012年) | 看護学専攻 | 中高年女性看護師の看護実践のあり様 -緩和ケア病棟に焦点をあてて- | 全文可 |
| 平成 24年度 (2012年) | 国際保健 助産学専攻 | 産後2~3か月の母親が授乳時のポジショニングを見出す体験 | 全文可 |
| 平成 24年度 (2012年) | 国際保健 助産学専攻 | 母性看護学臨地実習において指導助産師が行う男子看護学生への指導の工夫 | 全文可 |
| 平成 24年度 (2012年) | 国際保健 助産学専攻 | 緊急帝王切開となった女性の心理面に配慮した熟練助産師の関わり | 全文可 |
| 平成 24年度 (2012年) | 国際保健 助産学専攻 | 卒乳をめぐる児の反応と母親の体験 | 全文可 |
| 平成 24年度 (2012年) | 国際保健 助産学専攻 | 助産師へ性教育の授業を依頼した養護教諭が助産師に求めること | 全文可 |
| 平成 24年度 (2012年) | 国際保健 助産学専攻 | 都内A病院における助産師が行うバースレビューの実態調査実施の有無・実施方法・認識について | 全文可 |
| 平成 24年度 (2012年) | 国際保健 助産学専攻 | 開業助産師が捉える妊婦に“触れるケア”とその意味 | 全文可 |
| 平成 24年度 (2012年) | 国際保健 助産学専攻 | 妻の妊娠における父親の胎児および新生児の認識と行動 | 全文可 |

日本赤十字看護大学 修士論文

| | | | |
|--------------------|---------------|--|-----------------------|
| 平成 24年度 (2012年) | 国際保健 助産学専攻 | 近世産育習俗に関する基礎的一考察 | 複写不可 |
| 平成 24年度 (2012年) | 国際保健 助産学専攻 | 予定帝王切開術に立ち会う夫の体験 | 全文可 |
| 平成 24年度 (2012年) | 国際保健 助産学専攻 | 月経周期の異常を抱える18～20歳代前半の女性が産婦人科を受診するきっかけ | 全文可 |
| 平成 24年度 (2012年) | 国際保健 助産学専攻 | 立ち会い出産をめぐる助産院の助産師による夫への関わり | 全文可 |
| 平成 24年度 (2012年) | 国際保健 助産学専攻 | 娘のヒトパピローマウイルスワクチン接種に対する母親の思い | 全文可 |
| 平成 24年度 (2012年) | 国際保健 助産学専攻 | 20代病院勤務助産師の性役割観 | 全文可 |
| 平成 24年度 (2012年) | 国際保健 助産学専攻 | マレーシア国ジョホール州K市におけるマレー系マレーシア人女性の妊娠・出産・産褥の体験 | 複写不可 |
| 平成 24年度 (2012年) | 国際保健 助産学専攻 | 在日外国人妊産褥婦に対する助産師の海外助産活動経験の活用 | 全文可 |
| 平成 23年度 (2011年) | 看護学専攻 | 心不全患者の終末期における看護師の認識とかかわり | 全文可 |
| 平成 23年度 (2011年) | 看護学専攻 | 治療効果が得られにくくなった再発・転移がん患者への看護師のかかわり | 結果は不可 (本学大学院生は全文可) |
| 平成 23年度 (2011年) | 看護学専攻 | 急性骨髄性白血病に罹患した人の体験 | 全文可 |

日本赤十字看護大学 修士論文

| | | | |
|--------------------|-------|---------------------------------------|---|
| 平成 23年度 (2011年) | 看護学専攻 | 遷延性意識障害患者に対する看護実践と関連要因の検討 | 全文可 |
| 平成 23年度 (2011年) | 看護学専攻 | 心臓手術を受けた患者の包括的心臓リハビリテーションの意味 | インタビューガイド2回目、3回目の複写不可 結果又は考察を複写の場合著者に感想を連絡 |
| 平成 23年度 (2011年) | 看護学専攻 | 精神科入院患者にとっての生活空間-女性閉鎖病棟の畳部屋での参加観察から- | 全文可 |
| 平成 23年度 (2011年) | 看護学専攻 | 呼吸器疾患で短期入院している幼児前期の子どもの食事場面での看護師のかかわり | 全文可 |
| 平成 23年度 (2011年) | 看護学専攻 | 思春期の脳性麻痺の子どもの日常生活動作における看護師のかかわり | 全文可 |
| 平成 23年度 (2011年) | 看護学専攻 | 小児病棟に入院している重症心身障がい児が示すバイタルサイン値を活かした看護 | 全文可 (ただし学内者に限る) |
| 平成 23年度 (2011年) | 看護学専攻 | 他者とうまく距離をとることができない発達障害の学童に対する看護師のかかわり | 全文可 (ただし学内者に限る) |
| 平成 23年度 (2011年) | 看護学専攻 | 高齢パーキンソン病患者を長期間支える家族の介護の体験 | 結果は不可 |
| 平成 23年度 (2011年) | 看護学専攻 | 新人看護職員研修におけるガイドラインの示す「教育担当者」の抱える困難 | 全文可 (学外者は著者に連絡) |
| 平成 23年度 (2011年) | 看護学専攻 | 日常業務の相談場面における看護師長と看護師の相互作用の様相 | 全文可 |
| 平成 23年度 (2011年) | 看護学専攻 | 小児看護学実習における学生が子どもと家族にかかわるための支援 | 全文可 |

日本赤十字看護大学 修士論文

| | | | |
|--------------------|-------|---|--------------------|
| 平成 23年度 (2011年) | 看護学専攻 | 臨床における看護研究をスタッフにすすめる看護師長の取り組み | 全文可 |
| 平成 23年度 (2011年) | 看護学専攻 | 臨地実習を受け入れる病棟師長の思い-老年看護学実習に焦点を当てて- | 全文可 (ただし学内者に限る) |
| 平成 23年度 (2011年) | 看護学専攻 | 4大卒社会人学生が抱く看護専門学校入学後の学生生活に対する思い | 全文可 |
| 平成 23年度 (2011年) | 看護学専攻 | 病院の看護部トップマネジャーの後継者育成 | 全文可 |
| 平成 23年度 (2011年) | 看護学専攻 | 介護福祉士の就労経験をもつ看護学生の学習体験 | 全文可 |
| 平成 23年度 (2011年) | 看護学専攻 | キャリア開発ラダー同僚評価者の体験 | 全文可 |
| 平成 23年度 (2011年) | 看護学専攻 | 看護学生の特別活動の体験 | 全文可 |
| 平成 23年度 (2011年) | 看護学専攻 | 看護専門学校に勤務する経験5～10年の看護教員のキャリアに対する思い | 全文可 |
| 平成 23年度 (2011年) | 看護学専攻 | 育児のための短時間勤務制度利用者が働く病棟における看護師長のマネジメント -労働時間数の異なる職員の人的資源活用に焦点をあてて- | 結果のデータの例は複写不可 |
| 平成 23年度 (2011年) | 看護学専攻 | 脳卒中リハビリテーションのベストプラクティスを多職種協働で構築するプロセス | 全文可 |
| 平成 23年度 (2011年) | 看護学専攻 | 中堅看護師が体験した看護師長からの効果的なフィードバック | 全文可 |

日本赤十字看護大学 修士論文

| | | | |
|--------------------|---------------|--|-----------------------|
| 平成 23年度 (2011年) | 看護学専攻 | 看護師長が師長補佐に行う権限委譲の実情 | 結果は不可 (本学大学院生は全文可) |
| 平成 23年度 (2011年) | 看護学専攻 | 事前指示を実施する際の看護判断の内容を確認する「確認会話」の導入 | 全文可 |
| 平成 23年度 (2011年) | 看護学専攻 | 地域で生活する統合失調症をもつ当事者の被災体験-東日本大震災後の精神科デイケアでの会話から- | 結果および資料の複写は不可 |
| 平成 23年度 (2011年) | 看護学専攻 | 日本赤十字看護職の国際活動の継続に影響する要素 -フィリピン保健医療支援事業派遣者へのインタビューを通して- | 全文可 |
| 平成 23年度 (2011年) | 国際保健 助産学専攻 | 熟練助産師が中期中絶を選択した女性の入院中に実践しているケア | 全文可 |
| 平成 23年度 (2011年) | 国際保健 助産学専攻 | 助産外来を担う助産師の困難への対応 | 全文可 |
| 平成 23年度 (2011年) | 国際保健 助産学専攻 | 硬膜外無痛分娩における助産師の分娩進行判断の手がかり | 全文可 |
| 平成 23年度 (2011年) | 国際保健 助産学専攻 | 緊急母体搬送になった妊産婦に対する搬送元施設の看護者の関わり | 全文可 |
| 平成 23年度 (2011年) | 国際保健 助産学専攻 | 助産師を希望していたが、看護師として就職することを選択した看護系大学生の進路決定までの思いのプロセス | 全文可 |
| 平成 23年度 (2011年) | 国際保健 助産学専攻 | 母乳育児中の母親が服薬に対して抱く思い | 全文可 |
| 平成 23年度 (2011年) | 国際保健 助産学専攻 | 女子看護大学生の出産の痛みに対する捉え方 | 全文可 |

日本赤十字看護大学 修士論文

| | | | |
|--------------------|---------------|--|-----------------------|
| 平成 23年度 (2011年) | 国際保健 助産学専攻 | アメリカ合衆国における日本人女性の妊娠・出産・育児の体験 | 全文可 |
| 平成 23年度 (2011年) | 国際保健 助産学専攻 | 勤務している施設で出産した助産師の体験 | 全文可 |
| 平成 23年度 (2011年) | 国際保健 助産学専攻 | 女子大学生のもつ母乳育児のイメージ | 全文可 |
| 平成 23年度 (2011年) | 国際保健 助産学専攻 | ダウン症の子どもの胎児期から乳児期に父親が抱く思い | 全文可 |
| 平成 23年度 (2011年) | 国際保健 助産学専攻 | 夫立ち会い分娩における夫に対する助産師の認識と関連する要因 | 全文可 |
| 平成 23年度 (2011年) | 国際保健 助産学専攻 | ミャンマー連邦共和国ヤンゴン管区における完全母乳を行っていない母親が抱く母乳育児への思い | 全文可 |
| 平成 23年度 (2011年) | 国際保健 助産学専攻 | 就労妊婦の身体知覚と生活調整の体験 | 全文可 |
| 平成 23年度 (2011年) | 国際保健 助産学専攻 | 在宅レスパイトケアにおいて看護師が行う重症心身障がい児の状態の見定め | 全文可 |
| 平成 22年度 (2010年) | 看護学専攻 | 低出生体重児を出産した母親のNICU退院後早期における育児 | 全文可 |
| 平成 22年度 (2010年) | 看護学専攻 | 外科系病棟における患者の「生活を支える」看護ケアの事象 | 全文可 |
| 平成 22年度 (2010年) | 看護学専攻 | 呼吸困難のある終末期がん患者にかかわる看護師の体験 | 結果・考察(p14-52) 複写不可 |

日本赤十字看護大学 修士論文

| | | | |
|--------------------|-------|--|---|
| 平成 22年度 (2010年) | 看護学専攻 | ある精神科病棟に入院している男性患者の人間関係-看護師の視点から- | 全文可 |
| 平成 22年度 (2010年) | 看護学専攻 | 複数の慢性病をもち入院している高齢者の体験 | 複写不可 |
| 平成 22年度 (2010年) | 看護学専攻 | ひきこもる患者たち-精神科閉鎖病棟での参与観察から- | 全文可 |
| 平成 22年度 (2010年) | 看護学専攻 | 糖尿病腎症3期にある2型糖尿病患者の心理と療養行動の実施状況との関係 | 研究方法のみ複写可 (本文p13-18) その他の複写希望は 著者に連絡 |
| 平成 22年度 (2010年) | 看護学専攻 | 感染症予防において隔離している子どもと家族へのケア -小児病棟の看護師へのアクションリサーチを通して- | 全文可 (ただし学内者に限る) |
| 平成 22年度 (2010年) | 看護学専攻 | 胆道がん・膵がんにより手術を受けた患者の体験 -症状の自覚から手術後半年まで- | 結果・考察(p17-59)複 写不可 |
| 平成 22年度 (2010年) | 看護学専攻 | 在宅においてインフューザーポンプによる化学療法を受けている進行・再発大腸がん患者の体験 | 結果(p17-54)の複写 不可 |
| 平成 22年度 (2010年) | 看護学専攻 | 日勤就業時間後の看護職員の意識と行動の実態 | 巻末資料は複写不可 |
| 平成 22年度 (2010年) | 看護学専攻 | 災害超急性期における精神科看護師の体験 -新潟中越地震の被災看護師へのインタビューを通して- | 結果・考察(p15-46)複 写不可 |
| 平成 22年度 (2010年) | 看護学専攻 | 介護支援専門員の被災後1週間における支援活動 | 全文可 |
| 平成 22年度 (2010年) | 看護学専攻 | 集中治療室における緊急入院時の家族ケアの実態 | 学内者のみ 著者に連絡 |

日本赤十字看護大学 修士論文

| | | | |
|--------------------|---------------|--|--------------------------------------|
| 平成 22年度 (2010年) | 看護学専攻 | 2型糖尿病患者への生活志向的支援と看護師の認識と経験との関係 -食事療法に焦点をあてて- | 研究方法・結果(p15-46)のみ可 その他の複写希望は著者に連絡 |
| 平成 22年度 (2010年) | 看護学専攻 | 呼吸器症状に対し酸素投与を行う短期入院中の幼児への看護師のかかわり | 全文可 (ただし学内者に限る) |
| 平成 22年度 (2010年) | 看護学専攻 | 再発・転移により化学療法を受けている前立腺がん患者の体験 | 結果(p17-54)は不可 (ただし学内者に限る) |
| 平成 22年度 (2010年) | 看護学専攻 | 臨床経験3~5年の看護師の今後の方向性に影響する事象 | 結果(p19-50)は不可 |
| 平成 22年度 (2010年) | 看護学専攻 | がん性疼痛看護認定看護師を活用する 看護師長のマネジメント | 全文可 |
| 平成 22年度 (2010年) | 国際保健 助産学専攻 | 集中治療室の看護師が抱く看護実践に対する困難さと職務継続意思との関係 | 全文可 |
| 平成 22年度 (2010年) | 国際保健 助産学専攻 | 助産師が医師と協働で妊婦健康診査を行うことについて抱く思い | 全文可 |
| 平成 22年度 (2010年) | 国際保健 助産学専攻 | 不妊治療を受ける女性が捉える治療の場の意味 | 全文可 |
| 平成 22年度 (2010年) | 国際保健 助産学専攻 | 初妊婦の授乳への意思に影響を与える社会規範 | 全文可 (本文を引用する場合は明記) |
| 平成 22年度 (2010年) | 国際保健 助産学専攻 | 先天性心疾患をもつ乳幼児への「抱っこ」場面における臨床症状に関する看護師の判断および「抱っこ」の様相 | 全文可 (ただし学内者に限る) |
| 平成 22年度 (2010年) | 国際保健 助産学専攻 | 母乳育児を希望していたが混合栄養となった第1子育児中の母親の思いのプロセス | 全文可 |

日本赤十字看護大学 修士論文

| | | | |
|--------------------|---------------|---|----------------|
| 平成 22年度 (2010年) | 国際保健 助産学専攻 | 助産師が妊産婦に伝える性-妊産婦への性教育に対する助産師の意識- | 全文可 |
| 平成 22年度 (2010年) | 国際保健 助産学専攻 | 分娩衣についての妊産婦の意識 | 全文可 |
| 平成 22年度 (2010年) | 国際保健 助産学専攻 | 妊婦とそのパートナーに対するA助産院の助産師のかかわり | 全文可 |
| 平成 22年度 (2010年) | 国際保健 助産学専攻 | 家族立ち合い分娩に対する助産師の認識 -分娩進行への影響に焦点を当てて- | 全文可 |
| 平成 22年度 (2010年) | 国際保健 助産学専攻 | 院内助産システムに対する妊産婦の認識 | 結果(p.15-44)は不可 |
| 平成 22年度 (2010年) | 国際保健 助産学専攻 | 胎児の健康状態について妊婦が考えていること | 全文可 |
| 平成 22年度 (2010年) | 国際保健 助産学専攻 | 初産婦の「自然なお産」に対する意識とその形成過程 | 全文可 |
| 平成 22年度 (2010年) | 国際保健 助産学専攻 | 中国出身の母親の妊婦・出産・育児における体験と思い～日本での妊娠から生後4か月までの育児を通して～ | 全文可 |
| 平成 22年度 (2010年) | 国際保健 助産学専攻 | 自宅で出産した初産婦の授乳行動の過程 | 全文可 |
| 平成 22年度 (2010年) | 国際保健 助産学専攻 | 看護系大学生の避妊行動に対する認識 | 全文可 |
| 平成 22年度 (2010年) | 国際保健 助産学専攻 | 母親同士の集まりに参加している母親の体験と生ずる思い -乳児を育てる母親に焦点をあてて- | 全文可 |

日本赤十字看護大学 修士論文

| | | | |
|--------------------|---------------|--|------------------------------------|
| 平成 22年度 (2010年) | 国際保健 助産学専攻 | 泣きぐずる児をもつ母乳育児中の母親の体験 -助産師のケアを受けて- | 全文可 |
| 平成 21年度 (2009年) | 看護学専攻 | 外来通院治療を受けながら生活する再発・転移乳がん患者の体験 | 全文可 |
| 平成 21年度 (2009年) | 看護学専攻 | 血液透析移行時期にある腹膜透析者の体験 | 全文不可 |
| 平成 21年度 (2009年) | 看護学専攻 | 終末期がん患者にマッサージを通して関わることの意味 | 全文50%以下の複写 可 |
| 平成 21年度 (2009年) | 看護学専攻 | 手術適応ではなく化学療法を受ける肺がん患者の入院から退院後の生活に至る過程の体験 | 全文可 |
| 平成 21年度 (2009年) | 看護学専攻 | 内視鏡治療を受ける早期胃がん患者の体験 | 全文50%以下の複写 可 考察は複写不可 |
| 平成 21年度 (2009年) | 看護学専攻 | がんの再発・転移の治療を継続する妻をもつ壮年期の夫の体験 | 全文可 |
| 平成 21年度 (2009年) | 看護学専攻 | 2型糖尿病患者のできる自信、治療への努力と療養行動の関係 | 全文50%以下の複写 可 結果の複写は著者に 連絡 |
| 平成 21年度 (2009年) | 看護学専攻 | ストーマ保有者の他者との関わりと心理的対応 | 全文50%以下の複写 可 結果の複写不可 |
| 平成 21年度 (2009年) | 看護学専攻 | 集中治療室に緊急入院した患者の家族の思い | 全文50%以下の複写 可 結果の複写不可 |
| 平成 21年度 (2009年) | 看護学専攻 | 血液透析移行時期にある腹膜透析患者の体験 | 不明 |

日本赤十字看護大学 修士論文

| | | | |
|--------------------|-------|--|---------------------------|
| 平成 21年度 (2009年) | 看護学専攻 | 2型高齢糖尿病患者の療養行動の実態 | 全文50%以下の複写可 結果の複写不可 |
| 平成 21年度 (2009年) | 看護学専攻 | 精神科慢性期病棟に入院する患者との創作活動を介した関わり -なぜ患者は集まるのか- | 全文50%以下の複写可 全文複写は著者に連絡 |
| 平成 21年度 (2009年) | 看護学専攻 | ある退院支援支援病棟のエスのグラフィー-退院支援グループと長期入院患者の存在に焦点をあてて- | 全文可 |
| 平成 21年度 (2009年) | 看護学専攻 | 精神科病棟における‘囁く’患者・‘口ごもる’患者とのコミュニケーション | 全文可 |
| 平成 21年度 (2009年) | 看護学専攻 | 小児腫瘍疾患の子どもと家族への看護師のかかわり -治癒が望めない子どもと家族へのかかわりを中心に- | 全文50%以下の複写可 学内者限定 |
| 平成 21年度 (2009年) | 看護学専攻 | 短期入院中の泣いている幼児前期の子どもへの看護師のかかわり | 全文50%以下の複写可 |
| 平成 21年度 (2009年) | 看護学専攻 | 後期高齢者夫婦二人暮らしの介護継続の様相 -介護破綻と孤立化の危険性に焦点をあてて- | 全文可 |
| 平成 21年度 (2009年) | 看護学専攻 | 勤務継続につながる認識の焦点をあてて | 全文可 |
| 平成 21年度 (2009年) | 看護学専攻 | 回復期リハビリテーション病棟でのしびれ感をもつ脳血管疾患患者の体験 | 複写不可 |
| 平成 21年度 (2009年) | 看護学専攻 | 看護師長が日常の実践の中で行っている看護職者への教育的関わり | 全文50%以下の複写可 結果の複写不可 |
| 平成 21年度 (2009年) | 看護学専攻 | クリティカルケア領域における新任看護師の看護実践に対する指導者のかかわり | 複写不可 |

日本赤十字看護大学 修士論文

| | | | |
|--------------------|---------------|--|---|
| 平成 21年度 (2009年) | 看護学専攻 | リフレクションによる中堅看護師の自律促進に関する実践的検討 | 全文可 |
| 平成 21年度 (2009年) | 看護学専攻 | 統合した病院における病棟看護師長が行う看護実践の組織化 | 全文50%以下の複写可 データ部分複写不可 (本文p.21-31) |
| 平成 21年度 (2009年) | 看護学専攻 | 看護師長が病院経営に参加する過程 -看護の経営改善プロジェクトを通して- | 全文50%以下の複写可 データ部分複写不可 |
| 平成 21年度 (2009年) | 看護学専攻 | 医療事故発生後の看護部長の体験 -看護組織運営に焦点をあてて- | 全文50%以下の複写可 データ部分複写不可 |
| 平成 21年度 (2009年) | 看護学専攻 | 火山噴火に伴う長期避難生活を体験した長期高齢者に帰島を決意させた要因 -三宅島の2000年火山噴火に焦点を当てて- | 全文50%以下の複写可 |
| 平成 21年度 (2009年) | 看護学専攻 | パートナー以外に育児協力者を持たないと認識する女性の産後3か月までの生活 | 全文可 |
| 平成 21年度 (2009年) | 国際保健 助産学専攻 | セミオープンシステムを利用している妊婦の思い -分娩のために妊婦健診受診施設から分娩施設への移動間近な時期に焦点を当てて- | 全文可 |
| 平成 21年度 (2009年) | 国際保健 助産学専攻 | 病院出産予定の妊婦が抱く産科医療における「安全」のイメージ | 全文50%以下の複写可 全文複写は著者に連絡 |
| 平成 21年度 (2009年) | 国際保健 助産学専攻 | 助産所でのフリーリースタイル出産における分娩経過の判断 | 全文可 |
| 平成 21年度 (2009年) | 国際保健 助産学専攻 | へパリン療法を実施し出産に至った習慣流産女性の思い ～治療開始前から出産に至るまで～ | 全文可 |
| 平成 21年度 (2009年) | 国際保健 助産学専攻 | 開業助産師が妊婦管理中に妊婦の転院を決定するまでのプロセス | 全文50%以下の複写可 事例部分複写不可(本文p.73-80) |

日本赤十字看護大学 修士論文

| | | | |
|--------------------|---------------|---|----------------------|
| 平成 21年度 (2009年) | 国際保健 助産学専攻 | アフガニスタン人女性が日本で妊娠期から育児期を過ごすという体験 | 全文50%以下の複写 可 |
| 平成 21年度 (2009年) | 国際保健 助産学専攻 | 出産後尿失禁症状を抱えながら育児を行う褥婦の体験 | 全文可 |
| 平成 21年度 (2009年) | 国際保健 助産学専攻 | 切迫早産となった看護職の女性の体験 | 全文可 |
| 平成 21年度 (2009年) | 国際保健 助産学専攻 | 妊娠期を産科医療のない離島で過ごし、島外出産した女性の体験 | 全文可 |
| 平成 21年度 (2009年) | 国際保健 助産学専攻 | 離島でお産を支えてきた助産師の思い | 複写不可 |
| 平成 21年度 (2009年) | 国際保健 助産学専攻 | 自宅での出産に向けて開業助産師が行う妊娠期ケアの特徴 | 全文可 |
| 平成 21年度 (2009年) | 国際保健 助産学専攻 | 里帰り分娩で第一子を出産した女性の体験 | 全文可 |
| 平成 21年度 (2009年) | 国際保健 助産学専攻 | 周産期に尿血管障害を発症した妊婦、産婦へのケアと生じた思い -看護職者の振り返りから- | 全文可 |
| 平成 21年度 (2009年) | 国際保健 助産学専攻 | 血液透析移行時期にある腹膜透析患者の体験 | 複写不可 |
| 平成 20年度 (2008年) | 看護学専攻 | 頭頸部がん術後患者の食に関する体験 -再建術を受けた口腔・中咽頭がん患者に焦点をあてて- | 学内者のみ全文の 50%まで複写可 |
| 平成 20年度 (2008年) | 看護学専攻 | 早期腎症期・顕性腎症期にある糖尿病腎症患者の腎症の認識に関する実態 | 全文不可 |

日本赤十字看護大学 修士論文

| | | | |
|--------------------|---------------|---|-------------|
| 平成 20年度 (2008年) | 看護学専攻 | 30歳代から40歳代にある2型糖尿病合併症をもつ人の体験 -入退院を繰り返す人の思い- | 部分可 |
| 平成 20年度 (2008年) | 看護学専攻 | 日本の看護学分野における「国際看護」の概念分析 | 全文可 |
| 平成 20年度 (2008年) | 看護学専攻 | 緩和病棟における音楽療法の意味 | 全文50%以下の複写可 |
| 平成 20年度 (2008年) | 看護学専攻 | 高齢者の「援助を受ける」体験 -病院で看護師の援助を受ける高齢者に焦点を当てて- | 全文50%以下の複写可 |
| 平成 20年度 (2008年) | 看護学専攻 | モンゴル国の看護師の看護に対する意識と行動特性 -看護部長がエキスパートとみなす看護師へのインタビューから- | 部分可 |
| 平成 20年度 (2008年) | 看護学専攻 | パートタイムで働く看護師のワーク・ライフ・バランスの研究 | 部分可 |
| 平成 20年度 (2008年) | 看護学専攻 | 災害時に看護師が担う役割-避難所でのコーディネートに焦点をあてて- | 不可 |
| 平成 20年度 (2008年) | 看護学専攻 | 精神科病院における超長期入院患者の世界 -難波した語りをめぐって- | 全文可 |
| 平成 20年度 (2008年) | 国際保健 助産学専攻 | 島外出産をする女性への助産師によるケア | 全文可 |
| 平成 20年度 (2008年) | 国際保健 助産学専攻 | 妊産褥婦に対する助産師からのネガティブサポート -助産師の認識に焦点をあてて- | 全文可 |
| 平成 20年度 (2008年) | 国際保健 助産学専攻 | 短期入院した乳幼児の母親への看護師のかかわり -家庭における母親のケアの能力の促進に焦点をあてて- | 全文可 |

日本赤十字看護大学 修士論文

| | | | |
|--------------------|---------------|---|-----------------|
| 平成 20年度 (2008年) | 国際保健 助産学専攻 | 病院勤務助産師がとらえる新生児訪問に従事する意義 | 全文可 |
| 平成 20年度 (2008年) | 国際保健 助産学専攻 | 脳血管疾患の中年期男性患者がいる家族の退院時期における体験 -妻へのインタビューをととして- | 全文50%以下の複写 可 |
| 平成 20年度 (2008年) | 国際保健 助産学専攻 | 受け持ち看護師という役割を担う看護師の体験 | 部分可 |
| 平成 20年度 (2008年) | 国際保健 助産学専攻 | 卒乳期の女性の乳房自己診断の実態と関与する要因 | 全文50%以下の複写 可 |
| 平成 20年度 (2008年) | 国際保健 助産学専攻 | 精神科病院に入院している男性患者の生きにくさ -ある男性閉鎖病棟での関わりから- | 全文可 |
| 平成 20年度 (2008年) | 国際保健 助産学専攻 | 即日入院する乳幼児に関する外来看護師と病棟看護師の看護 | 全文可 |
| 平成 20年度 (2008年) | 国際保健 助産学専攻 | 2型糖尿病患者が看護師に伝えていない療養生活に関する調査研究 | 複写不可 |
| 平成 20年度 (2008年) | 国際保健 助産学専攻 | 産科有床診療所に勤務する助産師が妊産褥婦をケアする上で生じる思い | 全文50%以下の複写 可 |
| 平成 20年度 (2008年) | 国際保健 助産学専攻 | 安静を支持された短期入院生活を送る学童期の子どもの体験 | 全文50%以下の複写 可 |
| 平成 20年度 (2008年) | 国際保健 助産学専攻 | 助産師が育児と就業を継続させているプロセス -乳幼児までの育児を通して- | 全文50%以下の複写 可 |
| 平成 20年度 (2008年) | 国際保健 助産学専攻 | ブルキナファソ国カヤ市A診療所における妊婦健康診査に関する実態調査 | 全文可 |

日本赤十字看護大学 修士論文

| | | | |
|--------------------|---------------|---|---------------------|
| 平成 20年度 (2008年) | 国際保健 助産学専攻 | バングラデシュ国タンガイル県におけるグラミン銀行利用女性のFamily Planning 状況 | 全文50%以下の複写 可 |
| 平成 20年度 (2008年) | 国際保健 助産学専攻 | 専門看護師への管理的サポートに関する事例研究 | 不可 |
| 平成 20年度 (2008年) | 国際保健 助産学専攻 | 妊娠中に継続してヨガを行った女性の妊娠・出産・育児の体験 | 全文可 |
| 平成 19年度 (2007年) | 看護学専攻 | 精神科急性治療病棟の看護管理過程 | データ複写不可 |
| 平成 19年度 (2007年) | 看護学専攻 | 小児病棟に入院している思春期の子どもが看護師に求めること | 学内者のみ複写可 |
| 平成 19年度 (2007年) | 看護学専攻 | 血液透析施設における「透析仲間の死」 -看護職者がとらえた透析者と看護職者自身の反応に関する調査- | 複写可ただし連絡 |
| 平成 19年度 (2007年) | 看護学専攻 | 臨地実習での学生のインシデントおよびアクシデントに対応した看護教員の体 験 -学生への対応に焦点を当てて- | 学内者のみ複写可 |
| 平成 19年度 (2007年) | 看護学専攻 | 緊急入院した脳神経疾患患者の家族による治療の意思決定一生への選択しか ない | 学内者のみ結果・考察 以外複写可 |
| 平成 19年度 (2007年) | 看護学専攻 | 産後「マイナートラブル」を抱えながら育児をする初産婦の体験 | 全文50%以下の複写 可 |
| 平成 19年度 (2007年) | 看護学専攻 | プロジェクトチーム設置における看護部長の役割 | データ複写不可 |
| 平成 19年度 (2007年) | 看護学専攻 | ジャマイカにおける思春期の子どもと母親の性に関する会話と子どもの性行動 に対する母親の価値観 | 複写不可 |

日本赤十字看護大学 修士論文

| | | | |
|--------------------|-------|---|-------------|
| 平成 19年度 (2007年) | 看護学専攻 | 看護書にみる体位の保持・変換に関する看護技術の歴史の変遷 | 複写可 |
| 平成 19年度 (2007年) | 看護学専攻 | 新人看護師の看護技術実施時における体験 | 全文50%以下の複写可 |
| 平成 19年度 (2007年) | 看護学専攻 | 新卒者を迎えた卒後2年目看護師の体験 | 全文50%以下の複写可 |
| 平成 19年度 (2007年) | 看護学専攻 | 気管支喘息をもつ学童の「息苦しさ」の体験 | 全文50%以下の複写可 |
| 平成 19年度 (2007年) | 看護学専攻 | 精神科長期入院患者とのゲームを通してのかかわり -女性閉鎖病棟でのフィールドワークから- | 全文可 |
| 平成 19年度 (2007年) | 看護学専攻 | インドネシア共和国アチェ州の伝統的産婆(Dukun Bayi)の役割に関する研究 | 複写不可 |
| 平成 19年度 (2007年) | 看護学専攻 | 経験年数10年以上の看護師が事故防止対策に取り組むありよう | 全文可 |
| 平成 19年度 (2007年) | 看護学専攻 | 出産後3か月までの双子の母親が授乳方法を形成するプロセス | 全文可 |
| 平成 19年度 (2007年) | 看護学専攻 | 緩和ケア病棟の看護師が「言葉を失う」体験 | 全文50%以下の複写可 |
| 平成 19年度 (2007年) | 看護学専攻 | ケニアの都市に住むHIV/AIDSと共に生きる人々のQUALITY OF LIFE | 学内者のみ全文可 |
| 平成 18年度 (2006年) | 看護学専攻 | 膠原病患者の辛さと気持ちのゆとりに関する研究 | 部分可 |

日本赤十字看護大学 修士論文

| | | | |
|--------------------|-------|---|-------------------------|
| 平成 18年度 (2006年) | 看護学専攻 | 地域中規模病院に勤務する中堅看護師のキャリア志向 | 学内者のみ全文複写可 学外者50%まで可 |
| 平成 18年度 (2006年) | 看護学専攻 | スマトラ島アチエ地域におけるビダン・デザ/村落助産師の母子保健に関する職務の研究 | 不可 |
| 平成 18年度 (2006年) | 看護学専攻 | クリティカルケア領域における経験のある看護師が瞬時に行う複雑な臨床判断 | 結果・考察は不可 |
| 平成 18年度 (2006年) | 看護学専攻 | NICUを退院した極定出生体重児を育てる母親の体験 -子どもが修正1歳6カ月になるまで- | 研究結果は不可 |
| 平成 18年度 (2006年) | 看護学専攻 | 結核病棟に勤務する看護師が抱く感染の恐怖と陰性感情-内科病棟に勤務する看護師との比較を通して | 不可 |
| 平成 18年度 (2006年) | 看護学専攻 | 看護管理者の臨地実習受け入れへの整備 -人的環境に焦点をあてて- | 不可 |
| 平成 18年度 (2006年) | 看護学専攻 | 精神科男性病棟で働く看護師の体験 -「セクシュアルな戸惑い」に焦点をあてて- | 全文可 |
| 平成 18年度 (2006年) | 看護学専攻 | 児童思春期精神科病棟における看護師の体験 -「抱える」ことをめぐって- | 全文可 |
| 平成 18年度 (2006年) | 看護学専攻 | 感染管理認定看護師が院内感染対策担当者としての役割を獲得するプロセス | 不可 |
| 平成 18年度 (2006年) | 看護学専攻 | 地域に密着している病院の小児病棟に短期入院する子ども家族への看護師のかかわり | 結果・考察は不可 |
| 平成 18年度 (2006年) | 看護学専攻 | 業務改善に取り組む看護師長の暗黙知と看護管理のあり様 | 学内者のみ全文複写可 |

日本赤十字看護大学 修士論文

| | | | |
|--------------------|-------|---|--------------------------------|
| 平成 18年度 (2006年) | 看護学専攻 | 日本赤十字奉仕団で活動する定年退職前後の看護師の語りからみえてくること | 全文50%以下の複写可 インタビューからのデータは不可 |
| 平成 18年度 (2006年) | 看護学専攻 | 後期高齢者の周手術期体験におけるつらさ | 複写可ただし要連絡 |
| 平成 18年度 (2006年) | 看護学専攻 | 病院における助産師外来の看護管理システム -看護師長に焦点をあてて- | 不可 |
| 平成 18年度 (2006年) | 看護学専攻 | 退職した新人看護師の体験 | 全文可 |
| 平成 18年度 (2006年) | 看護学専攻 | 急性期小児病棟の一室に長期入院している医療的ケアの多い子どもたちへの看護師の関わり | 結果は不可 全文50%以下の複写可 |
| 平成 18年度 (2006年) | 看護学専攻 | 第一子出産前後の女性がパートナーに対して抱く愛情と出産の様相との関連 | 引用の際は出典を明記 |
| 平成 18年度 (2006年) | 看護学専攻 | 「怒鳴る患者」 -精神科療養病棟に入院中の高齢患者が訴えるもの- | 全文可 |
| 平成 18年度 (2006年) | 看護学専攻 | 看護実践能力の基礎的研究 -勝田の「能力」の概念を適用して- | 全文50%以下の複写可 |
| 平成 17年度 (2005年) | 看護学専攻 | 成人期透析者の家族の生活の諸相 -主支援者である妻の視点から- | 不可 |
| 平成 17年度 (2005年) | 看護学専攻 | 小児病棟に勤務移動して来た看護師の体験 | 学内者のみ50%まで可 学外者は著者に要連絡 |
| 平成 17年度 (2005年) | 看護学専攻 | 産科・婦人科混合病棟に勤務する助産師の妊産婦ケアに対する思い | 不可 |

日本赤十字看護大学 修士論文

| | | | |
|--------------------|-------|--|---------------------------|
| 平成 17年度 (2005年) | 看護学専攻 | DPC導入前後における看護組織のマネジメント -看護職員のスタッフィングを焦点として- | 19-45ページを除き50% まで可 |
| 平成 17年度 (2005年) | 看護学専攻 | 看護大学の新人教員が抱える臨地実習指導上の迷い | 不可 |
| 平成 17年度 (2005年) | 看護学専攻 | 小児病棟における「馴染みのないもの」に対する幼児の行動 | 不可 |
| 平成 17年度 (2005年) | 看護学専攻 | 小児病棟に勤務移動して来た看護師の体験 | 学内者のみ50%まで可 学外者は著者に要連絡 |
| 平成 17年度 (2005年) | 看護学専攻 | 療養病床における生活行動援助の実践的研究 -患者のよい変化が看護職者にもたらしたもの- | 不可 |
| 平成 17年度 (2005年) | 看護学専攻 | 急性期化する精神科慢性期閉鎖病棟に入院している患者とのかかわり | 不可 |
| 平成 17年度 (2005年) | 看護学専攻 | 精神科長期入院患者の世話・金銭・物を媒介とした互助システム -慢性期開放病棟における参与観察から- | 不可 |
| 平成 17年度 (2005年) | 看護学専攻 | 通院中の保存期慢性腎不全患者の語る体験 -進行していく病気を持った人に焦点をあてて- | 不可 |
| 平成 17年度 (2005年) | 看護学専攻 | 二次救急医療機関の救急外来待合室における乳幼児と親への看護師のかかわり | 学内者のみ50%まで可 学外者は著者に要連絡 |
| 平成 17年度 (2005年) | 看護学専攻 | 産科・婦人科混合病棟に勤務する助産師の妊産婦ケアに対する思い | 不可 |
| 平成 17年度 (2005年) | 看護学専攻 | DPC導入前後における看護組織のマネジメント -看護職員のスタッフィングを焦点として- | 19-45ページを除き 50%まで可 |

日本赤十字看護大学 修士論文

| | | | |
|--------------------|-------|--|---------------------------|
| 平成 17年度 (2005年) | 看護学専攻 | 入院している幼児後期の子どもの内服行動 | 学内者のみ50%まで可 |
| 平成 17年度 (2005年) | 看護学専攻 | 一般病棟でターミナルケアに携わる看護師の体験 | 不可 |
| 平成 17年度 (2005年) | 看護学専攻 | 医療変革期における副師長の役割遂行のあり様 | 不可 |
| 平成 17年度 (2005年) | 看護学専攻 | 看護師のキャリア開発に対する意識 ークリニカルラダーの中堅レベル評価を受けた体験を通してー | 不可 |
| 平成 17年度 (2005年) | 看護学専攻 | 看護師長の意思決定に至るプロセスから見てきたジレンマ | 不可 |
| 平成 17年度 (2005年) | 看護学専攻 | 緩和ケアにおける終末期患者の日常生活を支える援助技術の展開とその意味 | 50%まで可 |
| 平成 17年度 (2005年) | 看護学専攻 | 婦人科がんの手術を受けた患者の体験ー排尿障害に焦点を当ててー | 不可 |
| 平成 17年度 (2005年) | 看護学専攻 | 入院中に放射線画像検査を受ける幼児の体験 | 学内者のみ50%まで可 学外者は著者に要連絡 |
| 平成 16年度 (2004年) | 看護学専攻 | 要介護高齢夫婦の在宅生活を支える訪問看護実践 | 50%まで可 全文希望の場合は要 連絡 |
| 平成 16年度 (2004年) | 看護学専攻 | 看護過誤を体験した看護師の語りから見えたもの | 不可 |
| 平成 16年度 (2004年) | 看護学専攻 | 即時入院した幼児への看護師のかかわりの諸相 | 不可 |

日本赤十字看護大学 修士論文

| | | | |
|--------------------|-------|--|------------------------------|
| 平成 16年度 (2004年) | 看護学専攻 | 大卒看護師の職業継続に与える影響 ～キャリア初期の職務経験に焦点を当てて～ | 学内者のみ50%まで可 |
| 平成 16年度 (2004年) | 看護学専攻 | 機能回復期の脳血管疾患患者に対する家族の行動の背景にある心理 | 可 「結果」「考察」の複写 は不可(要相談) |
| 平成 16年度 (2004年) | 看護学専攻 | 人工肛門を造設し根治術まで家庭で過ごす乳幼児の親の体験 | 学内者のみ50%まで可 |
| 平成 16年度 (2004年) | 看護学専攻 | 出産後から産褥3～4ヶ月までの母親が行う母乳育児の経験 | 学内者は可 「結果」の複写は不可 |
| 平成 16年度 (2004年) | 看護学専攻 | 手術場面における看護師の感情体験 | 不可 |
| 平成 16年度 (2004年) | 看護学専攻 | 脳卒中後遺症で身体感覚が変化した人の日常生活の語り ～しびれや失調をもつということ～ | 不可 |
| 平成 16年度 (2004年) | 看護学専攻 | 看護実務経験のある学生が臨地実習で行う看護ケア －看護師養成2年課程教育－ | 全文可 |
| 平成 16年度 (2004年) | 看護学専攻 | 精神科病棟における聴覚障害をもつ患者のグループに関する実践研究 －言葉の獲得から物語へ－ | 全文可 |
| 平成 16年度 (2004年) | 看護学専攻 | 産褥早期に退院した女性の自宅での生活と開業助産師による訪問ケアの受け とめ －助産所にて出産後－ | 50%まで可 |
| 平成 16年度 (2004年) | 看護学専攻 | 精神科に勤務する看護師が患者に「脅かされた」と感じる体験 | 不可 |
| 平成 16年度 (2004年) | 看護学専攻 | 生体肝移植ドナーの体験 | 不可 |

日本赤十字看護大学 修士論文

| | | | |
|--------------------|-------|---|-------------------------------|
| 平成 16年度 (2004年) | 看護学専攻 | 糖尿病患者が周囲からの支援を求めようとしないことに関連する要因 | 50%まで可 全文希望の場合は要 連絡 |
| 平成 15年度 (2003年) | 看護学専攻 | 脳血管障害を生きる高齢者の経験 ～日常生活の介助を受けることになった人の苦悩～ | 不可 |
| 平成 15年度 (2003年) | 看護学専攻 | 病院での継続ケアを通して妊産婦と助産師が創り出した体験 | 全文可 |
| 平成 15年度 (2003年) | 看護学専攻 | 小児集中治療室(PICU)で働く看護師の複雑な思い | 50%まで可 |
| 平成 15年度 (2003年) | 看護学専攻 | 上腹部疾患患者の術後肺合併症発生に対する喀痰イメージ介入の影響 | 不可 |
| 平成 15年度 (2003年) | 看護学専攻 | 入院中の切迫早産妊婦からみた医療者の言動 | 不可 |
| 平成 15年度 (2003年) | 看護学専攻 | 糖尿病慢性合併症をもつ人の語られた体験 ー神経障害と足趾切断がもたらす身体の変化ー | 50%まで可 「結果」の複写は不可 (要相談) |
| 平成 15年度 (2003年) | 看護学専攻 | 手術室看護師のエキスパート性に関する研究ー「ハビトウス」からの接近ー | 全文可 |
| 平成 15年度 (2003年) | 看護学専攻 | 母乳育児グループワークに参加した母親達の考え方と行動の変化 ーバングラデシュのP村においてー | 部分可 |
| 平成 15年度 (2003年) | 看護学専攻 | 転院を余儀なくされた精神病院入院患者の体験 ー生活をいとむ場として病院で生きるということー | 全文可 |
| 平成 15年度 (2003年) | 看護学専攻 | 母体搬送された妊婦の感覚を通しての思い | 全文可 |

日本赤十字看護大学 修士論文

| | | | |
|--------------------|-------|---|-------------------------------|
| 平成 15年度 (2003年) | 看護学専攻 | 患者にとっての在宅酸素療法の意味～外来でのインタビューを通して～ | 全文可 |
| 平成 15年度 (2003年) | 看護学専攻 | 重症心身障害児(者)の気管切開の決断に関する母親の語り | 50%まで可 「結果」の複写は不可 |
| 平成 15年度 (2003年) | 看護学専攻 | 救急外来の看護師が抱く「ネガティブ」な感情 | 50%まで可 「結果」の複写は不可 (要相談) |
| 平成 15年度 (2003年) | 看護学専攻 | 救命救急センターにおける意識障害患者と家族のかかわりの意味 | 不可 |
| 平成 15年度 (2003年) | 看護学専攻 | 後期高齢者にとっての入院・治療体験 | 全文可 |
| 平成 15年度 (2003年) | 看護学専攻 | 看護診断の正確性を測定する日本語版質問紙の作成 | 全文可 ただし質問紙は不可 |
| 平成 15年度 (2003年) | 看護学専攻 | 農村地域における更年期女性の健康に関する自覚と工夫 ー公民館活動に参加する女性を対象にー | 不可 |
| 平成 15年度 (2003年) | 看護学専攻 | 成人前期のクローン病者の経験 | 不可 |
| 平成 15年度 (2003年) | 看護学専攻 | ケアマネジャー兼務の有無による訪問看護師の業務負担感と職務満足感 | 不可 |
| 平成 15年度 (2003年) | 看護学専攻 | 看護系大学卒業直後の看護師が行う看護実践 | 学内者は可 学外者は著者に要連絡 |
| 平成 15年度 (2003年) | 看護学専攻 | ほとんど反応が認められない超重度障害児への看護師の関わり | 50%まで可 |

日本赤十字看護大学 修士論文

| | | | |
|--------------------|-------|--|---------------------------|
| 平成 15年度 (2003年) | 看護学専攻 | 造血幹細胞移植後、退院した幼児に対する母親の取り組み | 50%まで可 |
| 平成 15年度 (2003年) | 看護学専攻 | 透析室に勤務する看護師の患者支援意欲に関わる要因 | 全文可 |
| 平成 15年度 (2003年) | 看護学専攻 | 精神科慢性期閉鎖病棟における精神発達遅滞をもつ患者を対象とした“遊び”のグループワークの発展過程 | 全文可 |
| 平成 15年度 (2003年) | 看護学専攻 | 緩和ケア病棟において看護師が患者のニーズに関わってゆく過程 | 文可 |
| 平成 15年度 (2003年) | 看護学専攻 | 臨地実習において戸惑いをもつ学生と教員の相互作用 | 全文可 |
| 平成 14年度 (2002年) | 看護学専攻 | 「専門領域」ごとの人事配置導入による看護教員の様相 | 学内者のみ50%まで可 学外者は著者に要連絡 |
| 平成 14年度 (2002年) | 看護学専攻 | PCU看護師の再生へのプロセス | 不可 |
| 平成 14年度 (2002年) | 看護学専攻 | 急性期病院における「プリセプターシップ」の現状と全スタッフによる関わり ー1成人内科病棟を対象としてー | 可 全文複写の場合のみ 著者に要連絡 |
| 平成 14年度 (2002年) | 看護学専攻 | 語りにもみる入院高齢者のスピリチュアルニーズ | 不可 |
| 平成 14年度 (2002年) | 看護学専攻 | 子宮摘出術を受ける患者の手術前後の自尊感情と夫婦関連の関係 | 不可 |
| 平成 14年度 (2002年) | 看護学専攻 | 新人助産師のリアリティショックとその対処行動 | 不可 |

日本赤十字看護大学 修士論文

| | | | |
|--------------------|-------|--|---------------------------|
| 平成 14年度 (2002年) | 看護学専攻 | 子どもと大人の混合病棟における看護師の抱える困難さ | 学内者は可 学外者は著者に要連絡 |
| 平成 14年度 (2002年) | 看護学専攻 | 乳がん患者の手術決定に伴う葛藤を測定する Decisional Conflict Scale 日本語版の作成 | 質問紙(本文中・付録のもの全て)以外は可 |
| 平成 14年度 (2002年) | 看護学専攻 | 高齢者の生を支える看護ースピリチュアルな体験としての看護ケアー | 不可 |
| 平成 14年度 (2002年) | 看護学専攻 | 一産院未熟児室の母乳育児推進活動とスタッフの変化 | 不可 |
| 平成 14年度 (2002年) | 看護学専攻 | 精神科病棟に長期入院している患者の「退院要求」の意味 | 50%まで可 但し、「結果」の複写は不可 |
| 平成 14年度 (2002年) | 看護学専攻 | 男性患者のセクシュアリティ表現による女性看護師の体験 | 学内者のみ50%まで可 学外者は著者に要連絡 |
| 平成 14年度 (2002年) | 看護学専攻 | 国際協力事業における援助側・被援助側双方看護職者の相互理解ーその実態と意義ー | 全文可 |
| 平成 14年度 (2002年) | 看護学専攻 | 口蓋扁桃摘出術およびアデノイド切除後の疼痛に伴う学童の体験 | 学内者のみ50%まで可 学外者は不可 |
| 平成 14年度 (2002年) | 看護学専攻 | 外科病棟におけるターミナル期の患者への看護実践の特徴 | 学内者のみ50%まで可 学外者は不可 |
| 平成 14年度 (2002年) | 看護学専攻 | NICUから小児病棟に転棟し継続入院する乳児を持つ母親の体験 | 学内者のみ50%まで可 学外者は不可 |
| 平成 13年度 (2001年) | 看護学専攻 | 胃がんの術後患者における「食べる」ことの体験 | 学内者のみ50%まで可 学外者は不可 |

日本赤十字看護大学 修士論文

| | | | |
|--------------------|-------|--|---------------------------|
| 平成 13年度 (2001年) | 看護学専攻 | 神経難病患者の病気の受け止め方とソーシャルサポートとの関係 | 不可 |
| 平成 13年度 (2001年) | 看護学専攻 | 救命救急センターで突然の死を体験した家族の悲嘆プロセスの記述 | 学内者は可 |
| 平成 13年度 (2001年) | 看護学専攻 | 療養者への援助を困難にさせる家族員に直面している訪問看護師の体験 －異空間から一体空間を模索する過程－ | 学内者のみ50%まで可 学外者は著者に要連絡 |
| 平成 13年度 (2001年) | 看護学専攻 | 虚血性心疾患に罹患した高齢者の自己管理に関する研究 | 不可 |
| 平成 13年度 (2001年) | 看護学専攻 | 不妊症患者に対する看護者の役割と看護実践上の困難・葛藤の様相 | 学内者は可 学外者は著者に要連絡 |
| 平成 13年度 (2001年) | 看護学専攻 | スタッフ・ナースの「意欲」に影響を及ぼす婦長の「態度」 | 学内者は可 学外者は著者に要連絡 |
| 平成 13年度 (2001年) | 看護学専攻 | 病院勤務看護者における配置転換の体験プロセスとその影響要因 | 学内者は可 学外者は著者に要連絡 |
| 平成 13年度 (2001年) | 看護学専攻 | 精神科急性期病棟の患者の語りとそれを聞く体験 | 全文可 |
| 平成 13年度 (2001年) | 看護学専攻 | 集中治療室における家族看護援助尺度の開発の初期段階に関する研究 －尺度原案作成とその検討－ | 不可 |
| 平成 13年度 (2001年) | 看護学専攻 | 思春期に血液・腫瘍疾患に罹患した子どもにとっての検査結果の意味 | 学内者は50%まで可 学外者は著者に要連絡 |
| 平成 13年度 (2001年) | 看護学専攻 | 進行性筋ジストロフィー症の子どもへの看護者の関わり | 学内者は可 学外者は著者に要連絡 |

日本赤十字看護大学 修士論文

| | | | |
|--------------------|-------|---|-------------------------|
| 平成 13年度 (2001年) | 看護学専攻 | 日常生活に障害をもつ病者の退院前後のとりくみ －壮年期のCVA病者に焦点をあてて－ | 不可 希望者は著者に要連絡 |
| 平成 13年度 (2001年) | 看護学専攻 | 精神科入院患者へのマッサージに映し出された無意識のコミュニケーション | 不可 |
| 平成 13年度 (2001年) | 看護学専攻 | 卒後経験5年から10年の看護職者のキャリア発達 | 学内者は可 学外者は著者に要連絡 |
| 平成 13年度 (2001年) | 看護学専攻 | 日本赤十字・ネパール赤十字の開発協力事業終了後3年目における地域女性ボランティアの活動状況と衛生環境 | 学内者のみ50%まで可 学外者の閲覧不可 |
| 平成 13年度 (2001年) | 看護学専攻 | 産科診療所に勤務する助産師の分娩に関する判断の揺らぎ | 学内者は可 学外者は著者に要連絡 |
| 平成 13年度 (2001年) | 看護学専攻 | 配偶者へのかかわりの実践プロセスの記述 －重症くも膜下出血を発症してから1ヶ月の看護者のかかわりに焦点をあてて－ | 全文可 |
| 平成 13年度 (2001年) | 看護学専攻 | 糖尿病看護における熟練看護婦のケアの分析 | 学内者は可 学外者は著者に要連絡 |
| 平成 13年度 (2001年) | 看護学専攻 | 婦長の看護ケアに関与する行動とその要因 | 学内者は可 学外者は著者に要連絡 |
| 平成 13年度 (2001年) | 看護学専攻 | 終末期がん患者の生きる意味の探求に関する研究 | 不可 |
| 平成 13年度 (2001年) | 看護学専攻 | 熟練看護者の看護実践における判断根拠 －医療の安全性に焦点をあてて－ | 学内者は可 学外者は著者に要連絡 |
| 平成 12年度 (2000年) | 看護学専攻 | 精神科急性期病棟における自然発生的グループの発展とその意味に関する研究 | 不可 |

日本赤十字看護大学 修士論文

| | | | |
|--------------------|-------|---|-----|
| 平成 12年度 (2000年) | 看護学専攻 | 化学療法に伴う悪心・嘔吐の苦痛がある学童のケアに携わる看護者の思い | 不可 |
| 平成 12年度 (2000年) | 看護学専攻 | 他児の退院を繰り返し体験している幼児後期の子どもの反応 | 不可 |
| 平成 12年度 (2000年) | 看護学専攻 | 妊娠中期以降に胎児異常を診断された妊産婦の体験 －妊娠中から分娩後1ヶ月までの継続ケアを通して－ | 不可 |
| 平成 12年度 (2000年) | 看護学専攻 | 病む人の生と看護の視点 ～慢性呼吸不全患者と家族の病いの語りから見えてくるもの～ | 不可 |
| 平成 12年度 (2000年) | 看護学専攻 | 末梢神経機能障害に及ぼす組織循環介入の影響に関する実験研究 | 不可 |
| 平成 12年度 (2000年) | 看護学専攻 | クリティカル・ケアに携わる熟練看護者の技能の記述 | 不可 |
| 平成 12年度 (2000年) | 看護学専攻 | 高齢糖尿病患者の食事療法における生活意識の特徴と食事療法実行度の関係 －壮年期患者との比較－ | 不可 |
| 平成 12年度 (2000年) | 看護学専攻 | 特定機能病院における混合病棟の看護婦が抱える問題 | 不可 |
| 平成 12年度 (2000年) | 看護学専攻 | 拡張型心筋症病者の体験する痛みの軌跡 | 不可 |
| 平成 12年度 (2000年) | 看護学専攻 | 胎児娩出感をもった女性の分娩体験 | 全文可 |
| 平成 12年度 (2000年) | 看護学専攻 | 断乳ケアをうける母親の思い | 不可 |

日本赤十字看護大学 修士論文

| | | | |
|--------------------|-------|-----------------------------------|----------------|
| 平成 12年度 (2000年) | 看護学専攻 | 他大学を卒業した在学生の看護専門学校教育に対する認識 | 資料は不可 その他は可 |
| 平成 12年度 (2000年) | 看護学専攻 | 国立東京第一病院附属高等看護学院の草創期にみる看護教育の特色 | 不可 |
| 平成 12年度 (2000年) | 看護学専攻 | NICUIに入院している子どもを持つ父親に対する看護者のかかわり | 不可 |
| 平成 11年度 (1999年) | 看護学専攻 | 造血器腫瘍患者のケアに携わる看護婦の臨床判断に関する質的記述的研究 | 不可 |
| 平成 11年度 (1999年) | 看護学専攻 | アルコール専門病棟における患者—看護者関係の様相 | 不可 |
| 平成 11年度 (1999年) | 看護学専攻 | 救命救急医療を要する出来事が家族システムの健康に及ぼす影響 | 不可 |
| 平成 11年度 (1999年) | 看護学専攻 | 精神科の慢性期閉鎖病棟で働く看護者の思い | 全文可 |
| 平成 11年度 (1999年) | 看護学専攻 | 三か月児をもつ父親の育児行動と育児に関する学習および態度の関連 | 全文可 |
| 平成 11年度 (1999年) | 看護学専攻 | クライアントとその家族・保健婦が捉える生活についての記述的研究 | 不可 |
| 平成 11年度 (1999年) | 看護学専攻 | 患者の問題解決へ向けた他職種とのかかわりにおける看護職の役割分析 | 不可 |
| 平成 11年度 (1999年) | 看護学専攻 | 血液・腫瘍疾患をもつ学童に対する看護者の関わりと子どもの内服行動 | 不可 |

日本赤十字看護大学 修士論文

| | | | |
|--------------------|-------|---|-----|
| 平成 11年度 (1999年) | 看護学専攻 | 超音画像の胎児に対する初産婦の思いと助産婦のケアに関する研究 | 不可 |
| 平成 11年度 (1999年) | 看護学専攻 | 消化器系の疾患をもち、絶食を経験した幼児の「食事」にかんする反応 | 不可 |
| 平成 11年度 (1999年) | 看護学専攻 | 急性期混合外科病棟における高齢者への看護婦の関わりの様相 | 不可 |
| 平成 11年度 (1999年) | 看護学専攻 | 臨床経験15年以上のスタッフナースの看護実践の意識 | 不可 |
| 平成 10年度 (1998年) | 看護学専攻 | 精神障害者小規模作業所に通う精神分裂病者の対人関係と看護者のかかわり | 不可 |
| 平成 10年度 (1998年) | 看護学専攻 | 乳がん患者のQuality of Lifeの実態とセルフヘルプ・グループ参加の影響 | 不可 |
| 平成 10年度 (1998年) | 看護学専攻 | 臨床看護婦が体得している患者理解の根幹 | 部分可 |
| 平成 10年度 (1998年) | 看護学専攻 | 在宅サービスを利用する介護者の特性と介護負担感 | 不可 |
| 平成 10年度 (1998年) | 看護学専攻 | 上子を家族立ち会い出産に参加させた母親の体験に関する研究 | 不可 |
| 平成 10年度 (1998年) | 看護学専攻 | 医師と看護者がともに参加する患者面接のダイナミクス | 不可 |
| 平成 10年度 (1998年) | 看護学専攻 | 集中治療下にある急性心筋梗塞患者の行為の位相とプロセス | 不可 |

日本赤十字看護大学 修士論文

| | | | |
|--------------------|-------|--|-----|
| 平成 10年度 (1998年) | 看護学専攻 | 臨床看護婦の看護の理念と専門職としての自立的行動 | 不可 |
| 平成 10年度 (1998年) | 看護学専攻 | 看護実践を導く根拠の実態についての質的研究 | 不可 |
| 平成 10年度 (1998年) | 看護学専攻 | 看護集団の組織風土に影響する婦長の行動 | 不可 |
| 平成 10年度 (1998年) | 看護学専攻 | 20代有職女性の性周期・性行動における自覚的健康の認知と保健行動に関する研究 | 不可 |
| 平成 10年度 (1998年) | 看護学専攻 | 救急外来を受診する子どもと母親に関わる看護者の行為 | 不可 |
| 平成 09年度 (1997年) | 看護学専攻 | 冠動脈バイパス術を受けた患者の術直後のサバイバルプロセス | 部分可 |
| 平成 09年度 (1997年) | 看護学専攻 | 「看護の専門的能力」の視点からみた院内教育ニーズの分析 | 不可 |
| 平成 09年度 (1997年) | 看護学専攻 | 発症早期にある慢性間接リウマチ女性患者の痛みの奇跡の構造化 | 不可 |
| 平成 09年度 (1997年) | 看護学専攻 | 入院している学童期の子どもと他の患児との関係 | 不可 |
| 平成 09年度 (1997年) | 看護学専攻 | 雑誌「看護」にみる”看護ことば”の理解の深まり | 不可 |
| 平成 09年度 (1997年) | 看護学専攻 | 心臓手術を受ける高齢者の発達的変容の発見 | 部分可 |

日本赤十字看護大学 修士論文

| | | | |
|--------------------|-------|------------------------------------|-----|
| 平成 09年度 (1997年) | 看護学専攻 | 開業助産婦が行う妊婦の生活判断と援助の過程 | 不可 |
| 平成 09年度 (1997年) | 看護学専攻 | 手術後に体動制限される幼児の反応 | 不可 |
| 平成 09年度 (1997年) | 看護学専攻 | 外来看護婦の発する言葉についての研究 | 不可 |
| 平成 09年度 (1997年) | 看護学専攻 | 精神科病棟における「難しい患者」の看護 | 不可 |
| 平成 09年度 (1997年) | 看護学専攻 | 在宅ケアにおける福祉職と看護職の連携に関する研究 | 全文可 |
| 平成 09年度 (1997年) | 看護学専攻 | 沖縄出身の精神科看護婦(士)のアイデンティティに関する研究 | 全文可 |
| 平成 09年度 (1997年) | 看護学専攻 | 入院患者の「自分への看護援助が決まる過程」における主体者としての自覚 | 不可 |
| 平成 09年度 (1997年) | 看護学専攻 | 痛みを伴う医療処置にとりくむ幼児の姿勢 | 不可 |
| 平成 09年度 (1997年) | 看護学専攻 | 医師と助産婦の分娩場面におけるコンフリクト | 不可 |
| 平成 09年度 (1997年) | 看護学専攻 | 精神障害者の喫煙に関する包括的研究 | 不可 |
| 平成 09年度 (1997年) | 看護学専攻 | 看護の高等教育政策に関する歴史的研究 | 不可 |

日本赤十字看護大学 修士論文

| | | | |
|--------------------|-------|------------------------------------|-----|
| 平成 09年度 (1997年) | 看護学専攻 | 看護集団が形成する組織文化と看護ケア特性 | 不可 |
| 平成 09年度 (1997年) | 看護学専攻 | 中年期にあるがん患者の社会生活の再編成の実態 | 不可 |
| 平成 09年度 (1997年) | 看護学専攻 | 臨床指導上の困難事象とその克服過程 | 不可 |
| 平成 09年度 (1997年) | 看護学専攻 | 人工妊娠中絶の看護における看護者の態度に関する研究 | 部分可 |
| 平成 09年度 (1997年) | 看護学専攻 | 活動が制限されている学童期の子どもの入院体験 | 部分可 |
| 平成 09年度 (1997年) | 看護学専攻 | 中間看護管理者の人材育成の実態と課題 | 不可 |
| 平成 08年度 (1996年) | 看護学専攻 | 看護学教科書の挿入写真に対する看護学生と看護専門職者の反応の分析 | 全文可 |
| 平成 08年度 (1996年) | 看護学専攻 | 初産婦の分娩1・2期における嘔気・嘔吐の出現と分娩の進行に関する研究 | 不可 |
| 平成 08年度 (1996年) | 看護学専攻 | 我が国の精神科看護における生活療養の歴史的意味 | 不可 |
| 平成 08年度 (1996年) | 看護学専攻 | 透析をしながら働く中年男性の社会関係調整の実態 | 不可 |
| 平成 08年度 (1996年) | 看護学専攻 | 小手術をうける幼児後期の子どもの姿 | 不可 |

日本赤十字看護大学 修士論文

| | | | |
|--------------------|-------|----------------------------------|-----|
| 平成 08年度 (1996年) | 看護学専攻 | 切迫流産妊婦の不確かさにおける看護者の対応 | 不可 |
| 平成 08年度 (1996年) | 看護学専攻 | 基礎看護学実習における評価の基礎的研究 | 部分可 |
| 平成 08年度 (1996年) | 看護学専攻 | 在宅療養者の自己決定を支える訪問看護婦の認識と方略 | 不可 |
| 平成 08年度 (1996年) | 看護学専攻 | 入院している子どもの母親との関係における看護者の立場 | 不可 |
| 平成 08年度 (1996年) | 看護学専攻 | 自然流産を経験した女性のソーシャルサポートを測定する質問紙の作成 | 不可 |
| 平成 08年度 (1996年) | 看護学専攻 | 精神科病棟における患者間の相互作用の諸相 | 不可 |
| 平成 08年度 (1996年) | 看護学専攻 | 一人暮らし高齢者のWell-Beingに関する研究 | 不可 |
| 平成 08年度 (1996年) | 看護学専攻 | 看護技術教育における学習内容についての検討 | 不可 |
| 平成 08年度 (1996年) | 看護学専攻 | 筋萎縮性側索硬化症患者の<病いを意味づける>奇跡 | 不可 |
| 平成 08年度 (1996年) | 看護学専攻 | 心筋梗塞を発症した病者の身体意識の様相 | 不可 |
| 平成 08年度 (1996年) | 看護学専攻 | 終末期医療における意思決定に看護婦はどう関わっているか | 不可 |

日本赤十字看護大学 修士論文

| | | | |
|--------------------|-------|--|-----|
| 平成 08年度 (1996年) | 看護学専攻 | 精神科リハビリテーションにおける援助の在り方 | 不可 |
| 平成 07年度 (1995年) | 看護学専攻 | 1995年兵庫県南部地震の救援活動に従事した看護婦の体験に関する研究 | 全文可 |
| 平成 07年度 (1995年) | 看護学専攻 | 院内教育にプリセプターシップを導入した新人看護者に関する調査研究 | 不可 |
| 平成 07年度 (1995年) | 看護学専攻 | 壮年期の慢性病者のセルフケア能力を査定する質問紙の開発 | 不可 |
| 平成 07年度 (1995年) | 看護学専攻 | 慢性疾患患児の同胞のソーシャルサポート、ストレスの認知及びコーピングとコーピングの結果の関係 | 部分可 |
| 平成 07年度 (1995年) | 看護学専攻 | 精神科社会復帰病棟における長期入院患者に対する看護者のグループワークの研究 | 不可 |
| 平成 07年度 (1995年) | 看護学専攻 | 在宅ケア導入期における家族介護者が訪問看護婦に抱く期待と信頼 | 不可 |
| 平成 07年度 (1995年) | 看護学専攻 | 入院患者の「意思決定」の諸相 | 不可 |
| 平成 07年度 (1995年) | 看護学専攻 | 術後の股関節障害者における在宅でのADLと物理的・人的サポート | 不可 |
| 平成 07年度 (1995年) | 看護学専攻 | 国際保健医療活動における看護者の異文化適応過程 | 不可 |
| 平成 07年度 (1995年) | 看護学専攻 | 先天性心疾患の子どもの体験していることへの思い | 不可 |

日本赤十字看護大学 修士論文

| | | | |
|--------------------|-------|-----------------------------|-----|
| 平成 07年度 (1995年) | 看護学専攻 | 青年期で構成される小規模精神科デイケアのプロセスと意義 | 不可 |
| 平成 07年度 (1995年) | 看護学専攻 | 自然分娩の骨盤出口部における産道の形態変化と助産術 | 部分可 |
| 平成 07年度 (1995年) | 看護学専攻 | 診療所における受信者の顕在的、潜在的質問 | 不可 |
| 平成 07年度 (1995年) | 看護学専攻 | 問題解決学習理論を用いた臨床実習指導モデルの開発 | 不可 |
| 平成 07年度 (1995年) | 看護学専攻 | 子どもの入院に付き添っている母親の思い | 不可 |
| 平成 07年度 (1995年) | 看護学専攻 | 在宅での看取りに関する影響因子について | 不可 |
| 平成 07年度 (1995年) | 看護学専攻 | フローレンス・ナイチンゲールにおける在宅看護の概念 | 不可 |
| 平成 07年度 (1995年) | 看護学専攻 | 人工透析の治療方法選択に関連する要因 | 不可 |
| 平成 07年度 (1995年) | 看護学専攻 | 難病とつき合いながら生きる患者と看護婦の相互作用の諸相 | 部分可 |
| 平成 07年度 (1995年) | 看護学専攻 | 短期入院をしている幼児前期の子どもと看護者の相互作用 | 不可 |
| 平成 07年度 (1995年) | 看護学専攻 | 看護者－患者関係にみられる関心の構造 | 不可 |

日本赤十字看護大学 修士論文

| | | | |
|--------------------|-------|--|-----|
| 平成 07年度 (1995年) | 看護学専攻 | 自己・他者理解を促す教授法の研究 | 不可 |
| 平成 07年度 (1995年) | 看護学専攻 | 子どもが受ける治療・看護への家族の参画 | 部分可 |
| 平成 07年度 (1995年) | 看護学専攻 | 手術前後の成人患者のコーピングプロセス | 部分可 |
| 平成 07年度 (1995年) | 看護学専攻 | 日本における精神科社会復帰病棟の看護スタッフの感情労働に関する分析的 研究 | 部分可 |
| 平成 07年度 (1995年) | 看護学専攻 | 既往の帝王切開分娩が2回目の妊娠・分娩体験に及ぼす影響とその対処 | 部分可 |
| 平成 07年度 (1995年) | 看護学専攻 | 道徳的葛藤状況における看護婦の道徳的巢論の実態 | 部分可 |
| 平成 07年度 (1995年) | 看護学専攻 | 癌患者の痛みと日常生活の安寧感との関係 | 不可 |
| 平成 07年度 (1995年) | 看護学専攻 | スリランカにおけるプライマリ・ヘルスケア推進の基本的外苑の構築 | 部分可 |